

はじめに

コンピュータに対する、一定の意味を持った命令とデータの集まりを“プログラム”という。プログラムを作る作業を“プログラミング”、プログラムを作るために用いる言葉を“プログラミング言語”という。

そう、プログラムを作るためには“言葉”を用いるのだ。言葉は、意志疎通のためのツールである。相手がコンピュータという無機質な機械であろうと、その本質は変わらない。

本書は、“コンピュータに意志を伝えるための言葉” プログラミング言語の発達と変遷の過程を記した本である。

*

人類がコンピュータという機械に出会って、50年以上の歳月が過ぎた。20世紀のちょうど半ばあたりに登場したコンピュータは、この半世紀の間に私たちの生活に深く浸透し、生活様式から意識のあり方まであらゆる部分に影響を与える存在となった。

このあたりで、コンピュータと人間との関わりの歴史を振り返ってみるのも、また意義のあることだと思う。本書はそのような意図で作られた。

コンピュータの歴史をまとめた書籍はあまたあるが、多くはハードウェアの発達史が中心となっている。プログラミング手段の技術的な解説書もまた数多く存在する。しかし本書は、技術史でもなければ技術解説書でもない。

“プログラミング”という行為を通して“人がどのようにして機械と関わってきたか”を眺めることが、本書の目的である。

*

コンピュータは他の機械たちと異なり、ソフトウェアによってどのようでも変化する特殊な道具である。コンピュータのハードウェアも、“ソフトウェアによって変化するもの”という前提に沿って進歩してきた。

ハードウェアは“実体としての道具”であり、ソフトウェアは“論理としての道具”である。プログラミングは道具を作る作業にほかならない。つまりプログラミングの歴史とは“道具を作るための道具”の歴史なのだ。

ソフトウェアと、それを作るためのプログラミングという作業は、人間にとって実はハードウェア以上に身近な存在なのだが、実体がない論理の体系である上に、専門的な技術の世界であるため、いまひとつなじみの薄い分野でもある。

プログラミング技術の歴史は、コンピュータと人間を取り持つ試み人と機械の対話の歴史である。数式や専門用語が飛び交う一見難しそうな世界も、実は人が機械に歩み寄るための手段なのだ。個々の記述の意味は分からなくても、その時々の人間の側の意図・意欲を知ることができる。

*

本書では、プログラミング言語の進歩の過程を中心に、その時代のコンピュータ技術、世相、風俗、政治情勢などを併せて紹介していく。ある技術が生まれた時代の空気、雰囲気を感じ取っていただくことが狙いだ。

そのため年代ごとに章を区切ったが、必ずしもプログラミング言語の誕生した時期と一致しない場合がある。あくまで時代の区切り、移り変わりの目安とご理解いただきたい。

テーマは“プログラミング言語の変遷”なので、世相・風俗や人物に関しても、各章で取り上げているプログラミング言語に関連する内容となっている。従って、厳密な政治史、文化史、人物史ではない。あくまで、時代ごとのプログラミング言語の特徴を補足するための情報である。

要するに“こんな世相だったときに、こんな技術が生まれたのだ”といったことが、概略把握できればよしということである。歴史書でも教科書でも研究論文でもないため、歴史的な区切りに関しては学術的厳密さを欠いている部分が多々あることを最初にお断りしておく。

*

本書は、翔泳社・Dr. Dobb's Journal Japan誌（現在は休刊）に1998年3月号から1年間にわたって連載された「プログラミング年代記」を元に、加筆・修正・補足を行い、さらに構成を大幅に変更してまとめたもの

である。

プログラミングには、技術的な専門用語や独特の概念が登場する。Dr. Dobb's Journal Japan 誌の読者は、プログラミングやそれに類する作業を日常行っている人たちだったので、連載時には専門用語の解説を省略していた。

しかし、今回書籍として再構成するにあたって、コンピュータやプログラミングに詳しくない人にも気軽に読んでいただけるよう、専門用語には可能な限り注釈を付けた。また、時代背景や人物の項など、プログラミングとは直接関係のない事柄についても注釈を加えた。

本書は、単にコンピュータ技術、その時代背景などを時系列順に読み進むほか、政治情勢や風俗だけ、あるいはコンピュータ技術だけ、人物だけを抜き出して、それだけをまとめて時系列順に読み取ることでもできる。

縦に横に、あるいは後ろから、気ままに開いたページから...と、自由にお読みいただきたい。歴史のお勉強などと構えず、人とコンピュータの関わりを、時代背景と共に気軽に眺めていただければ幸いだ。

*

本書の執筆にあたって、(株)翔泳社・出版局の中村理氏、三輪賢治氏、小野沢延広氏、野口垂由子氏に大変お世話になった。末筆ながら、感謝の意を表します。また、筆者に執筆の機会を与えてくださった、同社広告課の岩切晃子氏にもあわせて感謝の意を表します。

2000年10月 長谷川裕行

はじめに

目次

目次

序章	コンピュータ以前 “ 計算機械 ” の夢	13
	原始時代 ~ 20 世紀初頭	
技術	計算機以前	14
	数を数える手段	15
	計算機具の登場	16
	洋の東西と計算機具	17
技術	機械式計算機の時代	19
	計算機械の誕生	19
	バベッジと2種類の計算機械	21
	階差機関のメカニズム	23
人物	計算機械を作った人たち	27
第1章	コンピュータ黎明期 電気計算から電子計算へ	29
	20 世紀初頭 ~ 1949 年	
技術	電気計算機から電子計算機へ	32
	電子式計算機の誕生	32
	電子計算機の誕生	33
時代	二度の世界大戦の終結	37
	日本は焼跡・闇市の時代	37
	ラリーと手回し式計算機	39
	電卓とタイガー計算機と算盤	39
人物	人類史上初のコンピュータとプログラマ	41
	本当に最初のコンピュータを作ったのは誰か？	41
	人類最初のプログラマ	42
第2章	ソフトウェア黎明期 機械を操る言葉の誕生	45
	1950 年代 (1) 1950 年 ~ 1954 年	
技術	プログラム内蔵式の誕生	47
	プログラム内蔵式の誕生	47
	EDVAC と EDSAC	48
	マサチューセッツのつむじ風	49

時代	戦後の復興	51
	日本の経済復興	51
言語	プログラミング言語の誕生	53
	言語の誕生	53
	プログラム内蔵式とプログラミング	56
	初期入力の誕生	57
人物	フォン・ノイマン	60
	天才学者フォン・ノイマン	60
	天才はやはり変人である	62
第3章	半導体時代 機械の言葉から人間の言葉へ	65
	1950年代(2) 1955年～1959年	
技術	開発環境とアセンブラの誕生	67
	プログラミング言語の誕生	67
時代	日本のコンピュータ開発事始	71
	敗戦から始まった日本のコンピュータ	71
	怪獣映画とコンピュータ	72
言語	高級言語の誕生 FORTRANとAPL	75
	FORTRAN～元祖にして現役の高級言語	75
	APL～記号で機械と対話する	79
	FORTRANとAPLのたどった運命	82
	OSの誕生	84
第4章	FORTRANを超えて 人間の言葉に近付いたプログラミング	87
	1960年代(1) 1960年～1963年	
技術	民間に広まるコンピュータ	89
	トランジスタの登場とユーザ層の拡大	89
	FORTRANの次にくるもの	90
時代	冷戦と宇宙中継	93
	東西対立の時代	93
	キューバ危機	94
言語	事務言語、論理記述、人工知能 COBOL、ALGOL、Lisp	97
	COBOL～事務用言語の雄	97
	ALGOL～構造化言語の始祖	101
	Lisp～人工知能言語	104
	高級言語の原点が生まれた1960年代	105
人物	COBOLを生んだ女性	107
	ホッパー女史	107

第5章	FORTRAN、COBOLからの決別 ヒトと機械をつなぐもの	111
	1960年代(2) 1964年～1966年	
技術	普及するコンピュータ	113
	小型・高性能・低価格の時代	114
	2つの問題	115
時代	ヒッピー文化と高度成長	115
	反戦運動とヒッピー	117
	東京オリンピック	118
言語	入門用言語と汎用言語の誕生 BASIC、PL/I	120
	BASIC～寛容な入門用言語	120
	PL/I～大規模な汎用言語	123
	2つの言語の相違点と共通点	128
人物	アインシュタインとBASIC	129
	ケメニーとコンピュータ	129
	アインシュタインとの出会い	130
第6章	言語の新たな潮流 計算手順から思考の記述へ	133
	1960年代(3) 1967年～1969年	
技術	ソフトウェアの時代へ	135
	日増しに成長するハードウェア	135
	ソフトウェア工学の誕生	136
時代	宇宙開発の時代	138
	米ソ宇宙開発戦争	138
	大阪万博と高度成長	140
言語	コンピュータに思考を ALGOL68、Simula、Snobol	141
	ALGOL68～C言語のルーツ	141
	Simula～オブジェクト指向の原点	142
	Snobol～言語を理解する言語	145
人物	人工知能の父、チューリング	148
	人工知能の父～チューリングの生涯	148
第7章	未来を夢見た時代 考えるコンピュータの模索	153
	1970年代(1) 1970年～1973年	
技術	小さくなるハード、変化するプログラミング手法	155
	個人に近づくコンピュータ	155
	ハードウェアの進歩とソフトウェア技術の変化	156
時代	万博とオイルショックの明暗	159

言語	教育用言語と人工知能言語 Pascal、Prolog	162
	Pascal ~ ALGOLを受け継ぐ構造化言語	162
	Prolog ~ エキスパートシステムの元祖	165
人物	意識を持ったコンピュータ・HAL9000	170
	宇宙を旅するコンピュータ・HAL	170
第8章	ワークステーションとオブジェクト指向 個人に近づくコンピュータ	173
	1970年代(2) 1974年 ~ 1976年	
技術	ワークステーションと統合環境の誕生	175
	個人用コンピュータの誕生	175
時代	傷痕の癒えた時代	177
言語	オブジェクト指向言語百花繚乱	179
	Smalltalk、LOGO、Flavors、Clu	
	Smalltalk ~ オブジェクト指向と統合環境	179
	LOGO ~ 児童教育用言語	182
	その他のオブジェクト指向言語	185
人物	アラン・ケイと2人のスティーブ	188
	“理想のマシン”の生い立ち	188
	Altoから生まれたMacintosh	190
第9章	パソコン誕生前夜 共有の装置から個人の道具へ	193
	1970年代(3) 1977年 ~ 1979年	
技術	個人に近づくコンピュータ	195
時代	新たな価値観の誕生	197
	米国の若者文化	197
	日本の若者文化	198
言語	汎用構造化言語の誕生 C、Modula-2	201
	C言語	201
	Modula-2	205
	原点はALGOL 60	207
第10章	パーソナルコンピュータの誕生とプログラミング	209
	1970年代	
技術	マイコンキットからパソコンへ	210
	マイコンキットの登場	210
	Altairから始まった	211
	マイコンキットからパソコンへ	214

	日本のコンピュータ事情	215
言語	マイコンとアセンブリ言語	219
	マシン語とアセンブリ言語	219
	ニモニックとアセンブリ言語	220
人物	ビル・ゲイツと2人のスティーブ	222
	Appleとマイクロソフト	222
	ビルとスティーブの目指したもの	224
第11章	解き放たれたコンピュータ パーソナルの時代	227
	1980年代(1) 1980年～1984年	
技術	パソコンOSと和製OS	230
	パソコンの時代	230
	TRONプロジェクト	231
時代	融和と安定への転換点	233
	対立から併存・融和へ	233
	科学技術の転換点	235
言語	厳格なオブジェクト指向と鷹揚なオブジェクト指向 Ada、C++	236
	Ada～厳密な軍用言語	236
	C++～クラスを持ったC言語	240
人物	エイダ・オーギュスタ・ラブレイスの生涯	244
	パイロンの娘・エイダ	244
	詩人の感性と数学の素養	245
第12章	2つのオブジェクト指向言語 新たな時代の予兆	247
	1980年代(2) 1985年～1989年	
技術	日本のパソコン事情	250
	8ビットパソコンとBASIC	250
	16ビットパソコンとMS-DOS	253
時代	対立構造の終焉	255
	冷戦の終結	255
	日本の情勢	256
言語	CとSmalltalkから生まれたオブジェクト指向言語 Objective-C	258
	Cから生まれた2つの言語～C++とObjective-C	258
	Objective-C～オブジェクト指向トランスレータ	259
	Objective-CとC++	263
人物	“パソコン”という言葉と“マイコン刑事”	265
	パソコン？ マイコン？	265
	テレビドラマとマイコン	266

第13章	ビジュアル・プログラミングとインターネット 世紀末の新しい波	269
	1990年代 1990年～1999年	
技術	インターネットとRADツール	273
	RADツールとビジュアルプログラミング環境	273
	インターネットの開放	274
	最後の10年に見つけたもの	276
時代	世紀末の10年	277
	環境破壊からオカルトブームまで	277
	日本的世紀末	279
言語	新時代の開発環境 Visual Basic、Delphi、Java	281
	Visual Basic～Windowsに載ったBASIC	281
	Delphi～PascalベースのRADツール	285
	Java～WWW時代の言語	288
第14章	機械との対話はどこへ行くのか？	291
	2000年～そして未来へ	
	プログラミング言語のこれから	292
	インターネットとプログラミング	292
	OSはどこへ行くのか？	294
	プログラミングの将来	296
	プログラミング言語の系統図	298
	プログラミング関連用語簡易解説	300
	参考文献	309
	索引	310
	年表	巻末付録

第1章

コンピュータの黎明期 ～電気計算から 電子計算へ

20世紀初頭～1949年

20世紀は科学技術の時代だったと言われるが、自動計算機に関していえば、前半の数十年は依然として機械式の時代だった。大きな転換期を迎えるのは、20世紀も半ばに差しかけた頃である。

第二次世界大戦を境に、自動計算機の技術は真空管を使った電子式へと大きな飛躍を遂げる。バベッジが解析機関を考え出してから100年。破壊の硝煙の中で、コンピュータは生まれた。

プログラミング・コンピュータ関連

1901 (世) マルコーニ、太平洋横断無線通信成功

1911 (世) コンピューティング・ダビュレーティング・レコーディング社設立～ホレリスの統計機などを製造、販売

1918 (世) 米、アバディーン試験場で弾道計算の手法開発

1919 (世) 独、暗号機械エニグマを開発

1925 (日) 森村組、IBM社の代理店に

1927 (日) 黒沢商店、IBM社の代理店に

1928 (世) IBM社、80桁のパンチカードを採用

1935 (日) 塩川新助、リレー式積算回路を発明

(日) 富士電機、2進数計数回路を試作

1936 (世) 英、アラン・チューリング、論文「計算可能な数について」を発表

1937 (世) J.V.アタナソフ、真空管を使ったデジタル計算機を試作

1938 (世) 独、K.チューゼ、リレー式計算機Z-1完成

1939 (世) H.エイケンら、IBM社と共同で自動逐次制御計算機の研究開始

(日) 富士通信機、加減算集計装置を試作

(世) ニューヨーク万国博覧会開催

政治・経済・文化・世相

1900

1901 (世) ノーベル賞設立

1903 (世) 米、ライト兄弟、飛行機を発明

(世) 米、フォード自動車会社設立

1905 (世) アインシュタイン、相対性理論発表

1906 (日) 南満州鉄道会社設立

1909 (世) ハルビン駅で伊藤博文暗殺

1910

1910 (世) ハレー彗星大接近

1910 (日) 大逆事件

1912 (日) 明治天皇崩御、大正に改元

1914 (世) 第一次世界大戦勃発

(世) パナマ運河開通

(日) 桜島大噴火

(日) 東海道線・東京駅開業

1917 (世) ロシア革命、ソビエト政権樹立

1918 (世) 第一次世界大戦終結

1920

1920 (世) 国際連盟成立

(世) 米、ラジオ初放送

(日) 上野公園で日本最初のメーデー

(日) 第1回国勢調査実施(総人口7700万人)

1924 (日) メートル法施行

1926 (日) 日本放送協会(NHK)設立

(日) 大正天皇崩御、昭和に改元

1928 (世) 奉天郊外で張作霖爆殺事件

1929 (世) 世界大恐慌

1930

1930 (世) ロンドン海軍軍縮会議

(日) 世界恐慌が波及、昭和恐慌

1931 (日) 満州事変

1932 (世) 満州国建国

(世) ジュネーブ軍縮会議

(日) 五・一五事件

1933 (世) ドイツ・ナチス政権成立

(日) 国際連盟を脱退

(日) 三陸大地震

1935 (世) イタリア、エチオピアに侵攻、国際情勢が緊張

1936 (日) 二・二六事件

(日) ベルリンオリンピックで水泳の前畑が優勝

(日) 国会議事堂竣工

1937 (世) 日中戦争勃発

(世) 独空軍、スペイン・ゲルニカ空襲

1938 (日) 国家総動員法公布

1939 (世) 第2次世界大戦勃発

(日) ノモンハン事件

(日)日本の出来事 / (世)世界の出来事

1900年

1950年

1955年

序章

コンピュータ以前
～「計算機械」の夢

第1章

コンピュータ黎明期
～電気計算から電子計算へ

第2章

ソフトウェア黎明期
～機械を操る言葉の誕生

第3章

半導体時代
～機械の言葉から人間の言葉へ

プログラミング・コンピュータ関連		政治・経済・文化・世相
1943 (世) 米陸軍弾道試験所でENIACの研究・開発開始 (日) 富士通信機、リレー式乗除算回路試作 1944 (世) 米、Harvard Mark I完成 (世) 米、ベル研究所で継電器9,000個を使ったデジタル計算機の研究開始 1944 (日) 堀川新助、2進法四則電算盤を完成	1940	1940 (世) ドイツ軍、パリに侵攻 (日) 日独伊三国同盟結成 (日) 大政翼賛会設立 1941 (世) 英米、対日参戦 (日) ソルゲ事件 (日) 米・真珠湾を奇襲攻撃 1942 (日) 米軍、日本を初空襲 1943 (世) イタリア降伏 (日) 連合艦隊司令長官・山本五十六元帥戦死 1944 (世) ナチス、ユダヤ人を強制収容開始 (世) 連合軍、ノルマンディー上陸 (日) サイパン島玉砕
1946 (世) 米、ベル研究所のデジタル計算機完成 (世) 米、ENIAC完成 1947 (世) ベル研究所でトランジスタ開発 1948 (日) 山下英男(東京帝大教授)、キーボード入力可能なリレー式計算機を製作 1949 (世) 英、ENIACの欠点を改良したコンピュータEDSAC完成	1945	1945 (世) ヒトラー自決、ドイツ降伏 (世) 米、初の核実験 (世) 国際連合成立、アジア諸国の独立が相次ぐ (日) 広島・長崎に原爆 (日) ポツダム宣言受諾、日本降伏 (日) GHQ日本を統治 (日) ラジオに天気予報登場、歌謡曲番組復活 (日) JIS規格スタート 1946 (世) 国際連合第1回総会 ロンドン (世) ビキニ島核実験 (日) 天皇の人間宣言 (日) 極東国際軍事裁判開廷 (日) 日本国憲法公布～日本の民主化政策始まる (日) 新円切り替え (日) 警視庁、婦人警官採用 (日) 週刊朝日に米コミック「ブロンディ」(チック・ヤング作)連載開始 1947 (世) インド共和国成立 (世) 東西イデオロギー対立、冷戦の気運が高まる (日) 漫画「新宝島」発行、「東京ブギウギ」ヒット (日) GHQ、官公労の2.1ゼネスト中止、労働基準法公布 (日) 東京に喫茶店復活(コーヒー5円) (日) トヨペット生産開始 1948 (世) インド、ガンジー暗殺 (世) 朝鮮半島分断 (日) 帝銀事件 1949 (世) 北大西洋条約機構(NATO)発足 中華人民共和国(中国)成立 (日) 下山事件、三鷹事件、松川事件 (日) ヒロポン(麻薬)禍広まる (日) 湯川秀樹、日本人初のノーベル賞(物理学賞)受賞

(日)日本の出来事/(世)世界の出来事

1960年

1964年

1967年

1970年

1973年

第4章

FORTRANを超えて

～人間の言葉に近付いたプログラミング

第5章

FORTRAN、COBOLからの決別

～ヒトと機械をつなぐもの

第6章

言語の新たな潮流

～計算手順から思考の記述へ

第7章

未来を夢見た時代

～考えるコンピュータの模索

技術

時代

言語

人物

電気計算から電子計算へ

電気式計算機の誕生

階差機関が海を渡って以降、アメリカでは様々な自動計算装置が考案され、実用化されてきた。どれも機械式の計算機である。そして、デジタル計算の手法を取り入れた最大の“自動計算機”が生まれた。

Harvard Mark Iの誕生

1939年、ハワード・エイケン率いる米・ハーバード大学の計算研究所とIBM社との合同チームが、電気式計算機の開発に着手した。

IBM社は、当時アメリカの国勢調査に用いられるパンチカード式統計機を製造していた。これは、調査表のデータを打ち込んだパンチカードを読み取って統計計算を行うという機械で、IBMの創始者であるH.ホレリスらが開発したものである。エイケンはその技術に着目し、IBM社に協力を要請したのだ。

IBM社のパンチカード統計機は、数の記憶と加減算は機械式だったが、数を進める操作とご破算（ゼロクリア）の操作は電流による指示で行われるようになっていた。また、パンチカードの穴から数を読み出す機構には電気接点が使われ、電気的な信号の有無で「0と1」を読み取ったという。

1944年、5年の歳月を費やして、約3,000個のリレー（継電器）を使った“Harvard Mark I”（ハーバード・マークワン）が完成した¹。



図 1-1 : Harvard Mark I

1 折しも第二次世界大戦真っ直中、日本人が芋の蔓を食べ、空襲に逃げまどい、悲惨な戦いを繰り返していたそのとき、かの国は国勢調査のために計算機を作っていたのである。

1900年

1950年

1955年

序章
コンピュータ以前
～“計算機械”の夢

第1章
コンピュータ黎明期
～電気計算から電子計算へ

第2章
ソフトウェア黎明期
～機械を操る言葉の誕生

第3章
半導体時代
～機械の言葉から人間の言葉へ

国勢調査とバベッジ

19世紀の終わり頃から、米国では国勢調査の集計作業に機械式計算機を使うようになっていた。ホレリスらの開発したIBM社のパンチカード統計機は、計算の元になるデータをパンチカードに打ち込んでからまとめて読み込ませることで、処理効率を向上させた。

この技術が計算機の制御に持ち込まれ、Harvard Mark Iは完成した。その名も“自動逐次制御計算機 (Automatic Sequence-Controlled Calculator)”。パンチカード　つまり穿孔カードによって計算手順を与えろというバベッジの発想が、海を渡り時を経て、アメリカ合衆国で花開いたのだ。

バベッジの夢は実現したか？

Harvard Mark Iが完成したとき「バベッジの夢が実現した」と言われ、そのマニュアルの巻頭には「もし誰かが、数学的解析の実行部を実現するような機関を建造し成功するなら、私は私の名声をその人に託するだろう」² という意味のバベッジの言葉が引用された。

しかしHarvard Mark Iは、バベッジの構想を完全に実現したものではなかった。本当の意味でバベッジの夢がかなうのは、もう少し先のこととなる。

なお、Harvard Mark Iのプログラムを書いたのは、後に「COBOLの母」と呼ばれるグレース・マレー・ホッパー女史である³。

² 参考文献(7) p.82より抜粋の上要約。

³ 第4章「人物」を参照のこと。

電子計算機の誕生

先人たちの様々な研究成果を受けて電子計算機が誕生したのは、第二次世界大戦後である。機械制御という意味でのプログラミングの概念はHarvard Mark Iで既に確立されていたが、プログラミングツールとしての「言語」の登場はもう少し後のことになる。

1960年

第4章
FORTRANを超えて
～人間の言葉に近付いたプログラミング

1964年

第5章
FORTRAN, COBOLからの決別
～ヒトと機械をつなぐもの

1967年

第6章
言語の新たな潮流
～計算手順から思考の記述へ

1970年

第7章
未来を夢見た時代
～考えるコンピュータの模索

1973年

陸軍弾道研究所

IBM社がハーバード大学のエイケンらと共に電気・機械式計算機“Harvard Mark I”を作っていた頃、米・アバディーンにある米陸軍試射場の弾道研究所では、真空管を使った高速計算機の研究が行われていた。

その目的は、「大砲の弾頭の落下位置を、装薬量（火薬の量）砲身長、雷管の形状などの基礎データを元に計算し、弾道表を作る」ことだった。条件が多岐にわたるため大量の表が必要となり、計算量は膨大なものとなる。電気・機械式計算機では間に合わなかったのだ⁴。

この研究では、ON/OFFの2値を表す真空管を大量に搭載した機械が考えられていた。真空管も一種のリレー（継電器）だが、基本は電流と電圧の連続的な変化というアナログ的な要素を扱う装置である。その真空管を2値表現の素子として用いるというデジタル的な発想は、当時としてはかなり奇抜なアイデアだったはずだ。

真空管の巨人ENIAC

ペンシルバニア大学のJ.モークリとJ.P.エケット、陸軍兵器局のH.ゴールドスタインらは、弾道研究所の指示によって研究に着手し、この奇抜な発想を実現しようとした。その結果で上がったのが、大量の真空管を使った巨大な“電子式計算機”である。

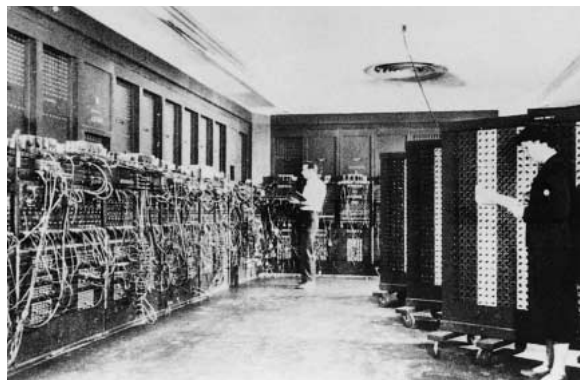


図 1-2：真空管の巨人ENIAC

4 加減乗除で済む国勢調査の集計や税務計算とは異なり、弾道計算ではべき乗、積分など高度な計算が必要だった。

Electronic Numerical Integrater And Calculator “電子式数値統合計算機”と名付けられたこの機械は、頭文字をとって“ENIAC”(エニアック)と呼ばれ、1946年2月15日に公開された。

17,468本の真空管とコンデンサ1万個、スイッチ6,000個を用い、全長30m、総面積170m²、重量30t という、とてつもない機械である。公開の席上、977,367の5000乗という、問題を一瞬にして計算し、喝采を浴びた。

ENIACはその後陸軍に引き渡され、微分解析機を使ってそれまで10～20分かかっていた1本分の弾道計算を、わずか3秒で片付けたという。

巨人の泣き所

環状計数器(リングカウンター) 累計器と手動のスイッチ群からなる3個の関数表装置という構成、パンチカードによるデータ入力など、ENIACの基本構造とその原理は電子化されたMark Iであり、元をたどればパベッジの解析機関に行き当たった。

100年も前にそれを実現しようとしたパベッジが、いかに優れた発想を持っていたか、まさに驚くべきことである。

ENIACがそれまでの自動計算機と異なるのは、計算手順の制御方法だった。電気・機械式計算機ではパンチカードまたは穿孔テープから命令を読み取り、それが演算装置に送られた。この方法では、処理速度がカードやテープを送る機械的な速度に依存してしまう。

一方ENIACでは、演算の開始と終了の指示が、電気信号として送られるようになっていた。たくさんの接点穴(ジャック)の設けられた配線盤に、両端にプラグの付いたジャンパケーブル(プログラム線)を差し込む。その差し込み方で、計算の仕方が変わるのである。

昔の手動式電話交換機に近いイメージだ。この「線の配列」がENIACのプログラムだった。

大戦の終わりとコンピュータの始まり

ENIACのプログラミング手法は、確かに一度プログラムを組めば機械

1960年

第4章
FORTRANを超えて
～人間の言葉に近付いたプログラミング

1964年

第5章
FORTRAN, COBOLからの決別
～ヒトと機械をつなぐもの

1967年

第6章
言語の新たな潮流
～計算手順から思考の記述へ

1970年

第7章
未来を夢見た時代
～考えるコンピュータの模索

1973年

的な読み取りは入力データだけとなるため、演算速度はカード送り機構の速度に依存しなくなる。しかし、再プログラムが大変だったことは容易に想像できる。

データ入力をパンチカードで行うようになっていながら、計算手順を「ジャンパ線の配列」という形にしてしまったことが、ENIACの最大の欠点となった。この欠点は、「弾道計算をする」という明確な目的のために、とにかく今ある技術を使ってできるだけ速い計算装置を作りたい という軍部の要望が元になっていたと思われる。

ようやく終結した第二次世界大戦の硝煙も消えやらぬうち、米国は「次なる戦い」に照準を合わせていた。再プログラミングの手間より、実用化することの方が重要だったのだ。

しかし、この巨人の欠点は、途中からENIAC開発グループに加わった一人の数学者、ジョン・フォン・ノイマンのアイデアによって間もなく解決された⁵。

5 ENIACの欠点を克服するアイデアを示したのが本当にノイマンだったかどうかについては諸説あり、厄介な問題へと発展していく。これについて詳しくは、次章で触れる。

国産のコンピュータ

実用化された電子式の計算機という意味で、ENIACはコンピュータ第1号機である。このENIAC、開発に要した費用は総額486,804ドルと22セント。当時としては膨大な金額だった。

日本でも戦前から計算機の研究開発が行われており、富士通信機（現、富士通）では九州帝国大学工学部出身の塩川新助らによって、戦時中にもリレーを使った乗除算回路などが試作されている。

戦後間もない時期に発表されたENIAC完成の報道は、当然彼らを刺激した。さっそく富士通信機は、通産省の助成を受けて米国からコンピュータに関する資料を取り寄せている。その価格は30万円。サラリーマンの初任給が1,000円の時代である。

新入社員300箇月分の代価を払ってでも、その新技術を手に入れたかったのだ。富士通信機が国産コンピュータFACOMを完成させるのは、その8年後のことである。

1900年

1950年

1955年

序章
コンピュータ以前
～“計算機械”の夢

第1章
コンピュータ黎明期
～電気計算から電子計算へ

第2章
ソフトウェア黎明期
～機械を操る言葉の誕生

第3章
半導体時代
～機械の言葉から人間の言葉へ

技術

時代

言語

人物

二度の世界大戦の終結

日本は焼跡・闇市の時代

ENIACが発表された1946年は、第二次世界大戦終結日本敗戦の翌年である。焼跡・闇市と呼ばれた時代だ。復興に向けての活力が芽生え始めた時期でもあった。

自動車、漫画、歌謡曲...

GHQ⁶の指示によって農地改革や財閥解体など日本の民主化政策が押し進められ、戦争放棄をうたった日本国憲法が公布された。戦局の悪化と共に休刊していた「中央公論」が復刊。その他、「世界」「展望」など世界情勢を論ずる雑誌が創刊された。

工業界でも、戦争とは無縁の市民のための工業製品が徐々に登場し始めている。国産スクーター第1号の「ラビット」が発売されたのもこの年だ。翌1947年には、トヨタ自動車がトヨペットを生産している。

漫画では長谷川町子の「サザエさん」が福岡新聞夕刊に登場。漫画界の一大事件と言われる手塚治虫の「新宝島」(酒井七馬・監修)が発刊され、飛ぶように売れた。笠置シズ子の「東京ブギウギ」が大ヒット...と、庶民の娯楽も復活している。

当然のことながら、市井の庶民には「電子計算機」など無縁の存在であり、その言葉すら誰一人として知る者はなかった。



図 1-3 : ラビット

6 連合国最高司令官総司令部。いわゆる占領軍。米陸軍大将ダグラス・マッカーサーを司令官とし、敗戦国日本の占領政策を行った。General Head Quarterの略とされる場合が多いが、正確には“General Headquarters of the Supreme Commander for the Allied Powers”の略。1952年、対日講和条約の発効と共に廃止された。

1960年

第4章

FORTRANを超えて
～人間の言葉に近付いたプログラミング

1964年

第5章

FORTRAN、COBOLからの決別
～ヒトと機械をつなぐもの

1967年

第6章

言語の新たな潮流
～計算手順から思考の記述へ

1970年

第7章

未来を夢見た時代
～考えるコンピュータの模索

1973年

技術

時代

言語

人物

計算機と言えば“タイガー”

当時、日本の庶民の間で「計算機」と言えば、金属の筒に付いたハンドルを回して計算を行う「タイガー計算機」のことだった。

タイガー計算機の歴史は古く、1号機が作られたのは1916年 大正時代である。明治時代にドイツから輸入された手回し式計算機を大本寅治郎という人物が改良し、特許を取って“虎印計算機”という名称で売り出した。

本書の執筆に当たって参考とさせていただいた資料には、「タイガー計算機は、1950年代半ばくらいまで広く実務に使われていた」と書かれている。が、実際には1970年代の初め頃まで、実務に使われていたようだ。



図1-4：タイガー計算機

大正から昭和まで

手回し式計算機は電子卓上計算機 いわゆる“電卓”の普及と共にその役目を解かれる訳だが、発売された当初の電卓は、当時の価格で1台数万円と非常に高価であり、中小規模の会社などではおそれと購入できなかった。

電卓が普及価格となるのは1970年代の半ば以降なので、恐らくその頃までは、事務作業に手回し式計算機が使われていたはずだ。

筆者が以前勤めていた会社で、1980年代の終わり頃に大型金庫の更改が行われた。古い金庫の中に入っていた物品を整理したとき、奥からこのタイガー計算機が出てきたのである。これには誰もが驚いた。

古株の社員に尋ねると、「十数年前くらいまで使っていた」とのことだ

1900年

1950年

1955年

序章
コンピュータ以前
～“計算機械”の夢

第1章
コンピュータ黎明期
～電気計算から電子計算へ

第2章
ソフトウェア黎明期
～機械を操る言葉の誕生

第3章
半導体時代
～機械の言葉から人間の言葉へ

った⁷。1970年頃 昭和で言えば40年代の半ばである。大正から昭和まで、恐ろしいほどのロングセラーだった訳だ。

ラリーと手回し式計算機

1970年代の半ば頃、ある自動車雑誌に「自動車のラリーでナビゲータが距離を計算する際に、手回し式計算機が使われていた」という記事が載っていたのを、筆者は記憶している。こんなところでも使われていたのだ。

件の記事には「筒型の手回し式計算機」と書かれていたが、恐らくタイガー計算機かその類似品だろう。その頃には既に電卓が普及していたはずだが、ラリーの世界では手回し式計算機が活躍していたのだ。なぜか？

ラリー車はとにかく揺れる。並みの揺れではない。筆者も経験したことがあるが、はらわたがひっくり返りそうなほどの揺れである⁸。そんな中でナビゲータは、自動車の速度と走行時間から走行距離を割り出さねばならない。

登場した当初の電卓は、数値表示部に7セグメントのLED（発光ダイオード）が使われていた。黒い背景の中に赤い文字がポーッと光る。年配の方は覚えておいでだろう。

揺れる自動車の中で赤いLEDの表示を眺めていると、闇の中で数字が踊り出し、目を閉じても消えなくなる。気分が悪くなり、計算などできたものではない。そんな訳で、手回し式計算機が重宝されたのだ。

なお現在のラリーでは、電卓どころかコンピュータが使われている。

電卓とタイガー計算機と算盤

電卓の普及と共に手回し式計算機の出番は減り、やがて市場から消滅した。ネーピアの棒から発展したといわれる計算尺も、同じ運命をたどった。では、それよりさらに原始的な計算機である算盤はどうだろう？

確かに算盤の出番も減ったが、手回し式計算機のように完全に「御隠れ」した訳ではない。金融機関や事務分野のオフィスでは、今でも算盤が健在である。

コンピュータのキーボードを前にして、入力元データとなる表を算盤

7 このとき併せて更改された総務課の金庫には、なんと昭和12年（1937年）製造のプレートが付いていた。物持ちのよい会社であることよ。

8 当時大阪北部に“はらがたわ峠”という未舗装の林道があった。ラリーの練習には持ってこいの場所で、地元のリリストには「はらわたがひっくり返る峠」と呼ばれていた。

1960年

1964年

1967年

1970年

1973年

第4章

FORTRANを超えて
～人間の言葉に近付いたプログラミング

第5章

FORTRAN、COBOLからの決別
～ヒトと機械をつなぐもの

第6章

言語の新たな潮流
～計算手順から思考の記述へ

第7章

未来を夢見た時代
～考えるコンピュータの模索

で計算しているおじさんもご健在だ。慣れぬマウスとキーボードで表計算ソフトを扱うより、算盤の珠を弾いた方が遥かに速いという人は、まだまだ大勢いらっしゃる。

算盤の需要は年々減ってはいるが、算盤塾に通う子供もたくさんいる。おそらく21世紀も、算盤は使われ続けるだろう。

黒木さんのこと

実は筆者は、本書の土台となったDDJJ誌での連載（「プログラミング年代記」）開始以前から、日本のコンピュータ技術黎明期の資料を漁っていた。

そのとき、筆者の母の友人であり、米シアーズ社の製品を参考に日本最初の金銭登録機（キャッシュ・レジスタ）の設計・開発に当たられた黒木寅男氏に当時のお話を伺い、貴重な資料をご提供いただいた。お名前は「寅男」さんだが、タイガー計算機と直接の関係はない。偶然である。

本書を手渡ししたかったのだが、残念なことに1997年（平成9年）6月、永眠された。亡くなる直前まで、現役の技術屋として活躍されていたようだ。慎んでご冥福をお祈りする。

1900年

1950年

1955年

序章
コンピュータ以前
～“計算機械”の夢

第1章
コンピュータ黎明期
～電気計算から電子計算へ

第2章
ソフトウェア黎明期
～機械を操る言葉の誕生

第3章
半導体時代
～機械の言葉から人間の言葉へ

技術

時代

言語

人物

人類史上初の コンピュータとプログラマ

本当に最初のコンピュータを作ったのは誰か？

人類初のコンピュータは、米陸軍弾道試験所で完成したENIACだと多くの人に信じられているが、実はそれ以前に、ENIACの土台とも言える電子計算機が作られていた。

アタナソフ・ベリー・コンピュータ

世界最初のコンピュータは、1937年、米・アイオワ州立大学のジョン・V・アタナソフ博士が、助手のクロフォード・E・ベリーと共同で開発したアタナソフ・ベリー・コンピュータである。

ENIACにも受け継がれた数々の技術が盛り込まれているが、実用化されなかった、汎用目的ではない、特許を取得していない...などの理由から、アタナソフの功績は長らくコンピュータ史の死角に入っていた。

この事実を、丹念な調査によって世に明らかにしたのは、米国人ジャーナリスト、クラーク・R・モレンホフである。きっかけは、ハネウェル社とスペリーランド社が争った裁判だった。

その裁判記録から、ENIAC開発の中心人物であったペンシルバニア大学のジョン・モークリが、アタナソフと出会う以前に独自に電子計算機の研究をしていた証拠が存在しないことが明らかになった。モークリは、アタナソフから電子計算機の原理を学んでいたのである⁹。結果、連邦地裁のラーソン判事は「モークリはアタナソフの研究成果を受け継いでENIACの開発に活かした」と裁定した。

9 アタナソフの証言によれば、モークリは「電子計算機には2進数が適している」というアタナソフの話に驚いたという。2進数の演算にも慣れていなかったらしい。確かに、そのような人物が、独自にENIACの回路を設計できたとは、とうてい考えられない。

1960年

第4章

FORTRANを超えて
～人間の言葉に近付いたプログラミング

1964年

第5章

FORTRAN, COBOLからの決別
～ヒトと機械をつなぐもの

1967年

第6章

言語の新たな潮流
～計算手順から思考の記述へ

1970年

第7章

未来を夢見た時代
～考えるコンピュータの模索

1973年

アタナソフとモークリ

結果的に、ENIACはモークリ独自の研究の産物でないことになったのだが、アタナソフのコンピュータは特定目体のための試作機であり、「世界で最初に実用化された汎用コンピュータはENIACだ」ということには、なんの間違いもない。

問題は、モークリがENIACに関する特許取得などに絡んで、アタナソフの業績を否定し、自身のオリジナリティーを主張したことだ。モレンホフによれば、モークリは金銭欲と名誉欲の強い人物だったらしく、ENIACで一儲けするためにアタナソフの業績隠しを画策したのではないか...ということなのである。

モレンホフの取材と調査結果は、1994年、邦題「ENIAC神話の崩れた日」(工業調査会刊)として出版された¹⁰。内容は、あくまで事実に基づく丹念な考察結果であり、特定の人物を意図的に誹謗するものではない。

ジャーナリストの真摯な調査が、歴史の陰に隠れてしまった偉大な学者の業績にスポットライトを当てたのだ。その本の原題は“ Atanasoff : Forgotten Father of the Computer ”(アタナソフ：忘れられたコンピュータの父・絶版)である。

10 参考文献(12)

人類最初のプログラマ

「人類初のコンピュータ」という名誉を巡って、泥臭い争いが巻き起こった。しかし、「人類初のプログラマが誰か」については、誰も疑義を差し挟まないはずだ。ENIAC誕生より100年も前のことである。

解析機関はENIACを超える

産業革命に沸き立つ19世紀のイギリスで、バベッジの解析機関は考案された。実現こそしなかったものの、その計画書は高度で卓越したアイデアに満ちており、現在のコンピュータの基本設計にまで受け継がれている。バベッジが「コンピュータの父」と呼ばれる由縁だ。

特に、関数の計算を表引きではなく計算式によって行うという発想には

1900年

1950年

1955年

序章
コンピュータ以前
～“計算機械”の夢

第1章
コンピュータ黎明期
～電気計算から電子計算へ

第2章
ソフトウェア黎明期
～機械を操る言葉の誕生

第3章
半導体時代
～機械の言葉から人間の言葉へ

驚かされる。100年後に作られた電子計算機ENIACでさえ、表引きの手法が採用されていたのだ。にもかかわらず、バベッジの解析機関では「定型計算の反復利用」という手法が採り入れられていた。これは関数のプログラム化であり、プログラムのサブルーチン化である。

やや大げさな言い方だが、オブジェクト指向プログラミングの手法も、さかのぼればここにたどり着くだろう。驚くべき発想だ。

人類初のプログラマ

解析機関の研究に情熱を傾けるバベッジの姿に感動し、彼に傾倒していた一人の女性がいた。ラブレイス伯爵夫人エイダ・オーギュスタというその女性は、金銭面にとどまらず、様々な形で解析機関の開発に協力し、バベッジを援助している。

教養ある貴族の夫人が情熱的な研究者に惹かれて資金援助することは、当時としてはごく普通の出来事だったと思われるが、この伯爵夫人の熱の入れようは凄かった。

貴族の娘として高度な数学教育を受けた彼女は、なんと解析機関の解説書を書き、さらに解析機関で利用されるプログラムまで書いたのである。

つまり、このエイダ・オーギュスタこそが、人類初のプログラマなのだ¹¹。バベッジがコンピュータの父なら、エイダはコンピュータの母である¹²。

計算機の黎明期に多大な貢献をした彼女の名は、1980年、米国防総省が制定した新しいプログラミング言語に受け継がれた。“Ada”¹³である。

プログラマの始祖は詩人の娘

この偉大な女性の父は、放浪と反逆の詩人パイロンである。プログラマの始祖は詩人の娘だったのだ。科学と詩には何か深い関係、あるいは因縁があるのかもしれない。パスカルの残した「考える葦である」という言葉も詩的だ。

そう言えば、カール・セーガン博士の原作をロバート・ゼメキスが監督・製作した映画「コンタクト」(1997年米)で、恒星ヴェガにたどり着

11 人類最初のプログラマが女性であることは、特に驚嘆に値しない。なぜなら、数式だらけのプログラミング言語を“普通の人間にも理解できる言葉”にしたのも、また女性だったからである(第4章参照)

12 但し、二人は夫婦ではない。念のため。

13 Adaについては第11章参照のこと。

1960年

1964年

1967年

1970年

1973年

第4章

FORTRANを超えて
～人間の言葉に近付いたプログラミング

第5章

FORTRAN, COBOLからの決別
～ヒトと機械をつなぐもの

第6章

言語の新たな潮流
～計算手順から思考の記述へ

第7章

未来を夢見た時代
～考えるコンピュータの模索

いた科学者エリー（ジョディ・フォスター）が、そのあまりに美しい光景に「詩人が来るべきだったわ」と呟くシーンがあった。

科学はメッセージのありかを教え我々を導くが、それを受け止めて後の時代へと伝えるのは、学者ではなく詩人なのかもしれない。



図 1-5：映画「コンタクト」の一場面

1900年

1950年

1955年

序章
コンピュータ以前
～“計算機械”の夢

第1章
コンピュータ黎明期
～電気計算から電子計算へ

第2章
ソフトウェア黎明期
～機械を操る言葉の誕生

第3章
半導体時代
～機械の言葉から人間の言葉へ

プログラミング・コンピュータ関連	BC	政治・経済・文化・世相
B.C.3世紀頃 (世) 中国で紐による計算 B.C.450頃 (世) キリシヤでアバカスが使われる		B.C.2世紀頃 (世) インダス文明 B.C.3世紀頃 (世) メソポタミア各地に都市国家 (世) エジプトに統一国家 (日) 縄文時代 B.C.500頃 (世) ペルシア戦争 (日) 弥生時代
	1000	1096 (世) 第1回十字軍遠征
	1100	1192 (日) 鎌倉幕府成立
	1200	
1200頃 (世) ヨーロッパにアラビア数字が伝わる	1300	1388 (日) 室町幕府成立
	1400	1455 (世) 英、ばら戦争 1467 (日) 応仁の乱
1400年代 (世) ダビンチ、計算装置を設計 (したらしい)	1500	1533 (世) インカ帝国滅亡
1500頃 (世) インカ帝国でキープが使われる	1600	1603 (日) 江戸幕府成立 1640 (世) 英、ピューリタン革命
1617 (世) ネーピア、ネーピアの棒を発明 1623 (世) シッカート、計算機を考案 1642 (世) パスカル、計算機を考案 1671 (世) ライブニッツ、乗算を行う計算機を作成	1700	1775 (世) 米、独立戦争
	1800	1803 (世) ジャガード、織機制御装置の研究に着手 1820 (世) パベッツ、階差機関の構想を発表 1834 (世) パベッツ、解析機関を設計 1842 (世) 英政府、階差機関の研究援助を打ち切り 1843 (世) エイダ・オーギュスタ、解析機関の解説書を発表 1853 (世) シューツ親子、階差機関を完成 1855 (世) シューツ親子の階差機関、パリ万博に出展 1871 (世) パベッツ死去 1879 (世) リッパード兄弟、キャッシュレジスタを発明 1984 (世) ナショナル・キャッシュレジスタ社設立 1890 (世) 米国籍調査でパンチカードを使用 1893 (世) スイスでミリオネア計算機発売
	1900	1901 (世) マルコーニ、太平洋横断無線通信成功
	1910	1911 (世) コンピューティング・ダビュレーティング・レコーディング社設立、ホレスの統計機などを製造、販売 1918 (世) 米、アバディン試験場で弾道計算の手法開発 1919 (世) 独、暗号機械エニグマを開発
	1920	1925 (日) 森村組、IBM社の代理店に 1927 (日) 黒沢商店、IBM社の代理店に 1928 (世) IBM社、80桁のパンチカードを採用
	1930	1935 (日) 堀川新助、リレー式積算回路を発明 (日) 富士電機、2進数計数回路を試作 1936 (日) 英、アラン・チューリング、論文「計算可能な数について」を発表 1937 (世) J.V.アタナソフ、真空管を使ったデジタル計算機を試作 1938 (世) 独、K.チューゼ、リレー式計算機Z-1完成 1939 (世) H.エイケンら、IBM社と共同で自動逐次制御計算機の研究開始 (日) 富士通信機、加減算集計装置を試作 (世) ニューヨーク万国博覧会開催
	1940	1943 (世) 米陸軍弾道試験所でENIACの研究・開発開始 (日) 富士通信機、リレー式乗除算回路試作 1944 (世) 米、Harvard Mark 1完成 (世) 米、ベル研究所で継電器9,000個を使ったデジタル計算機の研究開始 (日) 堀川新助、2進法四則電算盤を完成
	1945	(世) ヒトラー自決、ドイツ降伏 (世) 米、初の核実験 (世) 国際連合成立、アジア諸国が相次ぎ独立 (日) 広島・長崎に原爆 (日) ボツダ宣言受諾、日本降伏 (日) GHQ 日本を統治 (日) ラジオに天気予報登場、歌謡曲番組復活 (日) JIS規格スタート
(世) 米、ベル研究所のデジタル計算機完成 (世) 米、ENIAC完成	1946	(世) 国際連合第1回総会 ロンドン (世) ビキニ島核実験 (日) 天皇の人間宣言 (日) 極東国際軍事裁判開廷 (日) 日本国憲法公布、日本の民主化政策決まる (日) 新円切り替え (日) 警視庁、婦人警官採用 (日) 週刊朝日に米コミック「ブロンディ」(チック・ヤング作) 連載開始
(世) ベル研究所でトランジスタ開発	1947	(世) インド共和国成立 (世) 東西イデオロギー対立、冷戦の気運が高まる (日) 「新宝島」発行「東京ブギウギ」ヒット (日) GHQ、官公労の21ゼネスト中止、労働基準法公布 (日) 東京に喫茶店復活 (コーヒー5円) (日) トヨベツト生産開始
(日) 山下英男 (東京帝大教授)、キーボード入力可能なリレー式計算機を製作	1948	(世) インドガンジー暗殺 (世) 朝鮮半島分断 (日) 帝銀事件
(世) 英、ENIACの欠点を改良したコンピュータEDSAC完成	1949	(世) 北大西洋条約機構 (NATO) 発足 (世) 中華人民共和国 (中国) 成立 (日) 下山事件、三鷹事件、松川事件 (日) ヒロポン (麻薬) 摘発 (日) 蒲川秀樹、日本人初のノーベル賞受賞
(世) 米、プログラム内蔵式計算機EDVAC完成 (世) 米、実務に用いられた最初のプログラム内蔵式コンピュータSEAC完成 (世) レミントンランド社、Short Code実用化	1950	(世) 朝鮮戦争勃発 (日) 警察予備隊発足 (日) 聖徳太子の千円札発行
(世) 米国防調査局、レミントンランド社のUNIVAC-Iを導入 (世) MITでWhirlwind I型稼働開始	1951	(世) サンフランシスコ平和条約調印、日米安全保障条約調印 (世) NATO軍発足 (日) NHKテレビ、実験放送 (後楽園の野球中継)
(世) IBM社、プログラム内蔵式コンピュータ701型を発表	1952	(世) 韓国、李承晩ライン設定 (世) ヘルシンキでオリンピック開催 (日) 皇居前広場でテモ隊と警官隊が衝突 血のメデー事件 (日) 破壊活動防止法公布 (日) 映画「ゴジラ」7人の侍公開 (日) 冷蔵庫・洗濯機・掃除機が三種の神器 (日) プロレス中継「力道山対シャープ兄弟」街頭テレビに人だかり
(世) IBM701コンピュータ用言語、Speedcoding開発	1953	(世) 朝鮮戦争休戦協定調印 (世) ソ連、水爆保有を表明 (世) シュバリエー博士、ノーベル平和賞受賞 (日) NHK、テレビ放送を開始 (日) テレビCM第1号、精工舎のお昼の時報 (日本テレビ) (日) 紅白歌合戦、日劇から公開放送
(世) IBM社、磁気ドラムメモリを採用したコンピュータ650型を発表 (世) ラニングとジーラー、Whirlwind用代数処理言語Algebraic Translatorを開発	1954	(世) マーシャル諸島・ビキニ環礁水爆実験 (世) パリ協定調印、西独の主権回復 (日) ビキニ環礁水爆実験で第五福竜丸被爆 (日) 自衛隊法公布 (日) 映画「ゴジラ」7人の侍公開 (日) 冷蔵庫・洗濯機・掃除機が三種の神器 (日) プロレス中継「力道山対シャープ兄弟」街頭テレビに人だかり
(世) 米、磁気コアメモリが市場に登場 (世) ノースアメリカン航空、ジェネラルモーターズ、モニタを開発 OSの原型となる	1955	(世) シュドイツ、NATO加盟 (世) ジュネーブ4日頭会談で軍縮を協議 (日) 保守合同で自民党結成 (日) トヨタ自工・トヨベツトクラウン、東芝・電気釜発売 (日) 広島で第1回原水爆禁止世界大会開催 (日) 石原慎太郎「太陽の季節」で文壇騒然
(世) トランジスタを開発したショクリーら3人に、ノーベル科学賞 (世) 米、航空防衛システムSAGEの構築を開始、WhirlwindをベースにしたIBM社製コンピュータを使った (世) ハーバード大、K.E.アイバーソン、アイバーソン言語を開発 (日) 日本電気、NEAC-1101開発に着手 (世) IBM社、科学演算用コンピュータ704型を発売	1956	(世) メルボルン・オリンピック大会開催 (日) スイス戦争 (第二次中東戦争) 勃発 (日) 偽千円札事件 (日) 設備投資ブームで神武景気 (日) 四谷に国内初の分譲マンション

政治・経済・文化・世相	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	
(世) デジタルイクイップメント (DEC) 社設立 (世) IBM704型でFORTRANが動作 (世) パロース社、トランジスタを使用したICBM制御用コンピュータを開発 (世) MIT、COMIT開発		(世) 防空管制システムSAGE稼働開始 (世) トランジスタを使った商用コンピュータが登場 (日) 日本電気、トランジスタ方式のNIAC-2201を稼働 (世) I.A.L.委員会、I.A.L.(のちALGOL58に改称) 開発	(世) フェアチャイルド・セミコンダクタ社とテキサスインスツルメンツ社、集積回路(IC)を発表 (世) DEC社、対話型ミニコンピュータPDP-1をデモンストレーション (世) ゼネラルエレクトリック (GE) 社、コンピュータ市場に参入	(世) IBM、全自動トランジスタ製造プラントを設立 (世) IBM社、709型をトランジスタ化した7090型コンピュータを発売 (世) DEC社、PDP-1を12万ドルの破格値で発売 (他機種の場合は数百万ドル) (世) 米国防総省COBOL委員会、COBOL60を制定 (世) I.A.L.委員会、ALGOL60を開発	(世) フェアチャイルド・セミコンダクタ社、集積回路の製造を開始 (世) 米国防総省COBOL委員会、COBOL61を制定 (世) 米国防総省「COBOLの動かないコンピュータ購入しない」と発表 (日) 日本電気、パラメトロンを用いたNEAC-1240発表	(世) テキサスインスツルメンツ社、集積回路の特許を取得 (世) MITでLisp誕生 (世) 米、大学にコンピュータ学科学科登場 (世) ジョン・ウィリアム・A Programming Language出版 (世) 米、MITのジョン・マッカーサーLisp開発 (世) AT&Tベル研究所、SnoBolを開発	(世) ASCII (American Standard Code for Information Interchange) 制定 (世) ALGOLをベースにしたCPL考案	(世) 米、ダートマス大学でBASIC誕生 (世) IBM社、System/360ファミリ発表 (世) RCA社、商用初の集積回路搭載コンピュータSpectra発表 (世) オンライン航空予約システムSABRE稼働 (日) 日本国有鉄道 (後にJRに分割) オンライン座席予約システム稼働	(世) DEC社製ミニコンピュータPDP-8が大ヒット (世) IBM社、汎用言語PL/Iを開発 (世) ミニットマン弾道ミサイル制御システム稼働 (世) 米国防総省、社会保険番号を納税者番号とするコンピュータ管理を開始	(世) コンピュータ・ユーザーグループACS設立 (世) ニューヨーク証券取引所、基本取引の自動化を完了	(世) ニューヨークでコンシューマ・エレクトロニクスショー開催 (世) 半導体メモリ出荷開始 (世) IBM社、フロッピーディスクを開発 (世) 米国防総省、所得税管理のコンピュータ化を完了 (世) AT&Tベル研究所でSnoBol4開発 (世) MIT、バートを中心に児童教育用ツールLOGO開発 (世) M.リチャーズ、BCPLを開発	(世) ジョイント・コンピュータ・カンファレンス (世) Intel社設立 (世) IBM社、ソフトウェアの価格分離に同意 (世) Hewlett-Packard社、電子桌上計算機HP9100A発売 (世) NATO会議で「ソフトウェア工学」という言葉が使われる (世) IFIP (国際情報処理連合) ALGOL68を制定 (日) ナルウェア計算センターでSimula誕生	(世) Advanced Micro Device社設立 (世) データゼネラル社、中規模集積回路を用いたミニコンピュータNova発売 (世) 米国防総省、核攻撃を想定したネットワーク・ARPANETを開発 (後のインターネット) (世) AT&Tベル研究所でUNIX開発 (世) (日) ビジコン社、Intelに電卓用ICの設計を依頼	(世) XEROX社、バロアルト研究所(PARC)開設 (世) Intel社、世界初のMPU・4004を完成 (世) DEC社、ミニコンピュータPDP-11発売 (世) IBM社、半導体メモリを搭載したSystem/370シリーズ発表 (世) スイス連邦工科大学、ワース教授Pascalを考案、翌年発表 (世) K.トンプソン、DEC社PDP-7用言語、Bを開発	(世) Intel社、MPU・4004出荷 (世) IBM社、8インチフロッピー出荷 (世) NASA、並列処理コンピュータILLIAC-IV導入	(世) レキシントン社、リリックス社世界初のフロッピーを開発 (世) Hewlett-Packard社、ポケット計算機HP35発売 (世) マルセイユ大学、コルメラウア、コワルスキー人工知能言語Prolog開発 (世) AT&Tベル研究所、D.M.リッチー、C言語を開発 (日) 日本電気、国産初のMPU・μP700完成 (世) XEROX社、ワークステーションの原型となるAltoを開発	(世) Intel社、8ビットMPU・8080発表 (世) ゲーリー・キルダール、4004MPU用OS・CP/M開発 (世) 米、小売業界が統一商品コード(バーコード)を採用 (日) 日本電気、初のオフコン・システム100発表 (日) 日本電気、MPU搭載オフコン・NE300発表	(世) Intel社、8ビットMPU・8080発表 (世) ゲーリー・キルダール、8080用OS、CP/M開発 (世) MITS社、8080を搭載したマイコンキットAltair8800発売 (世) XEROX社、ミニコンピュータAlto発表 (世) XEROX社、Alto用に世界初のWYSIWYGシステムBravo開発 (世) Hewlett-Packard社、ポケット計算機HP-65発表	(世) マイコンキットAltair、雑誌で紹介 (世) ビル・ゲイツ、8080用BASICを開発 MITS社がAltair用として発売 (世) Microsoft社設立。当初は「Micro-Soft」 (世) Modula誕生	(世) サイゴン陥落、南ベトナム降伏、ベトナム戦争終結 (世) 山陽新幹線第1回開通 (日) 公労協、スト権スト実施 (日) 沖縄国際海洋博覧会開幕 (日) TV番組「欽ちゃんのドンとやってみよう」、「赤い疑惑」

プログラミング・コンピュータ関連	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975
(世) ソ連、スプートニク1号打ち上げ (世) ソ連、ICBM (大陸間弾道弾) の実験に成功 (日) 日米安全保障委員会設立 (日) 国連安保理非常任理事国に当選 (日) 原子力発電所設立 (日) なべ底不況始まる (1958年まで)		(世) 米、人工衛星エクスプローラー1号打ち上げ (日) 売春防止法施行 (日) 1万円札 (聖徳太子) 発行 (日) 東京タワー完成 (日) TVドラマ「私は貝になりたい」、放映	(世) キューバ革命、カストロ首相就任 (世) チェ・ゲバラ来日 (世) DEC社、対話型ミニコンピュータPDP-1をデモンストレーション (日) 昭和基地で樺太タロとジロの生存確認	(世) ローマ・オリンピック開催 (世) ミ2偵察機、ソ連 (ロシア) 上空で撃墜 (U2事件) (世) 南ベトナム解放戦線結成 (日) 日米安保条約調印 (日) 社会党、浅沼書記長刺殺 (日) 反安保闘争で樺美智子さん死亡 (日) カラーテレビ放送開始	(世) 米、キューバと国交断絶 (世) 東独、ベルリンの壁を建造 (日) ソ連、ボストーク1号打ち上げ カガリシツ佐が地球一周 (日) 釜ヶ崎暴動 (日) 水俣病認定 (日) TV番組・シャボン玉ホリデー、スチャラカ社員	(世) キューバ危機 米、キューバを海上封鎖 (日) 堀江謙一、ヨットで太平洋横断 (日) 偽千円札・チ37号事件 (日) 映画・キューボラのある街、秋刀魚の味	(世) 米・英・ソ、部分的核実験禁止条約調印 (世) ソ連、初の女性宇宙飛行士レシコフ「私はカモメ」 (世) 米、ケネディ大統領暗殺事件 (日) 日米テレビ宇宙中継実験 ケネディ暗殺のニュースが放送される (日) 関西電力、黒部川第4発電所(黒四ダム)完成 (日) 第9回原水禁大会分裂 (日) 草加次郎・爆弾事件 (日) 女性週刊誌「ヤングレディ」女性セブン、創刊	(世) パレスチナ解放機構 (PLO) 設立 (世) 米駆逐艦、北ベトナム軍と交戦 トンキン湾事件 (世) 中国、初の核実験 (日) OECD (経済協力開発機構) に加盟 (日) 東海道新幹線開通 (日) 東京オリンピック開催 (日) 漫画「おぼけのQ太郎」(藤子不二雄)、「カムイ伝」(白土三平)	(世) 米軍、北ベトナム爆撃(北爆)開始 (世) 米、マルコムX暗殺事件 (世) 印パ(インド・パレスチナ)紛争 (日) 原水爆禁止国民会議(原水禁)結成 (日) 家永三郎、教科書検定裁判 (日) 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞 (日) 東京に初のスモッグ警報 (日) TV番組「青春とはなんだ」、「小川宏ショー」	(世) ソ連、ルナ9号月面軟着陸 (世) 中国共産党、文化大革命 (日) 航空機事故相次ぐ(全日空機、羽田沖で墜落・カナダ航空機、羽田空港堤防に激突・英BOAC機、富士山付近で墜落など) (日) 祝日法改正(敬老の日、体育の日) (日) 佐藤首相、「核の傘」発言 (日) 人口、1億人突破 (日) 劇画「巨人の星」(梶原一騎・川崎のぼる) 特撮TV「ウルトラQ」、「ウルトラマン」 (日) ビートルズ来日	(世) 欧州共同体 (EC) 発足 (世) 東南アジア諸国連合 (ASEAN) 結成 (世) 米、ベトナムで枯葉剤作戦 (世) 第3次中東戦争 (日) 佐藤首相の東南アジア歴訪と訪米に抗議デモ(第1次、第2次アジア事件) (日) 国民の9割が「中流」意識と国民白書 (日) 新宿にフーテン族登場、アングラ族、ヒッピー族など (日) 漫画「天才バカボン」(赤塚不二夫)、「ルパン三世」(モンキーパンチ)	(世) ソ連、チェコ侵攻 (世) 北朝鮮、フェブロ号拿捕事件 (世) 米、キング牧師暗殺事件 (世) アラブ石油輸出国機構(OAPEC)結成 (世) ベトナムと平和条約 (世) ジョンソン大統領、北ベトナム爆撃(北爆)停止を発表 (日) 札幌医大で日本初の心臓移植手術 (日) 府中市で三徳円強奪事件 (日) 原子力空母エンタープライズ、佐世保入港 (日) 金鐘老事件(旅籠人質事件) (日) 川端康成、ノーベル文学賞受賞 (日) グループサウンズとフォークソングが流行、「受験生ブルース」(高石とまや) ヒット	(世) 米、アポロ11号月面軟着陸 (世) 米、ウッドストック、ロックフェスティバル (世) ソ連宇宙船ソユーズ4号と5号がドッキング成功 (日) 奥崎謙三、皇居バチンコ玉事件 (日) 東大・安田講堂に機動隊突入 (日) 新宿駅西口フォーク集会以参加者と機動隊が衝突、西口「広場」は「通路」に改称 (日) 佐藤ニクソン会談で沖縄返還を確認 (日) 名神高速道路、東京-西宮間全面開通 (日) 郵便番号制度実施 (日) NHKがFM放送開始、FM東京開局 (日) TV「8時だヨ!全員集合」、「ガク/ゲ!90分」 (日) CM「オー、モーレツ」(丸善石工)「はっばふみふみ」(パイロット万年筆)	(世) ムルサ、パレスチナゲリラー掃討戦(黒い19月) (世) ビアフラ、内戦終結 (世) ウィーンでSALT (米ソ戦略兵器制限交渉) 開始 (世) (日) 大阪千里丘陵で万国博覧会開催 (日) 初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ (日) 大阪、天六ガス爆発事故 (日) 日米安全保障条約自動延長、反対集会 (日) プリンズ号シージャック事件 (日) 赤軍派による日航機よど号ハイジャック事件 (日) 三島由紀夫、自衛隊市ヶ谷駐屯地で割腹自殺 (日) 劇画「銭ヶバ」、「アシュラ」(ジョージ秋山)「光る風」(山上たつひこ)	(世) バングラデシュ、パキスタンから独立 (世) IBM社、クラフ雑誌「LIFE」休刊 (世) 第3次印パ(インド・パキスタン)戦争 (日) ニクソンのドル防衛策で東京株式市場大暴落(ドルショック) (日) 自衛隊機と全日空機雲石上空で衝突 (日) 環境庁発足 (日) 沖縄返還協定調印 (日) 連続婦女暴行魔大久保逮捕 (日) NHK総合TV全番組カラー化 (日) 新宿王五郎ザザザ開演	(世) テルアビブ、ロッド空港で日本人ゲリラによる銃乱射事件 (世) ミュンヘンオリンピックでテロ事件 イスラエル選手団殺害 (世) 米、北爆(北ベトナム爆撃)再開 (日) 横井庄一元軍曹グアム島で救出 (世) 連合赤軍、浅間山荘で警官隊と銃撃戦(連合赤軍事件) (日) 沖縄返還、沖縄県発足 (日) 田中角栄、日本列島改造論発表 (日) 日中国交正常化共同声明 (世) (日) 映画「ゴッドファーザー」、「ダーティーハリー」	(世) ベトナムと平和協定調印 (世) 米軍、南ベトナムから撤退 (世) ラオス停戦 (世) チリ、軍事クーデター (世) 第4次中東戦争 エジプト・シリア軍がイスラエルと交戦 (世) ウォーターゲート事件 (日) 韓国大統領候補、金大中氏が東京で誘拐(金大中事件) (日) 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞 (日) 老人医療無料化 (日) 国電中央線にシルバースーツ登場 (日) OAPECが石油値上げ 石油危機(オイルショック) (日) 小説「日本沈没」(小松左京)	(世) ウォーターゲート事件でニクソン大統領辞任 (世) ソウル、朴大統領狙撃事件 (日) 佐藤栄作前首相ノーベル平和賞受賞 (日) 筑波大学開学 (日) 三菱重工ビル爆発事件 (日) 小野田寛郎元少尉、フィリピン・ルパン島から帰還 (日) コリ・ゲラ来日、超能力・スプーン曲げブーム (日) コンビニ第1号セブン・イレブン開店	(世) サイゴン陥落、南ベトナム降伏、ベトナム戦争終結 (世) 山陽新幹線第1回開通 (日) 公労協、スト権スト実施 (日) 沖縄国際海洋博覧会開幕 (日) TV番組「欽ちゃんのドンとやってみよう」、「赤い疑惑」

政治・経済・文化・世相	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975
(世) ソ連、スプートニク1号打ち上げ (世) ソ連、ICBM (大陸間弾道弾) の実験に成功 (日) 日米安全保障委員会設立 (日) 国連安保理非常任理事国に当選 (日) 原子力発電所設立 (日) なべ底不況始まる (1958年まで)		(世) 米、人工衛星エクスプローラー1号打ち上げ (日) 売春防止法施行 (日) 1万円札 (聖徳太子) 発行 (日) 東京タワー完成 (日) TVドラマ「私は貝になりたい」、放映	(世) キューバ革命、カストロ首相就任 (世) チェ・ゲバラ来日 (世) DEC社、対話型ミニコンピュータPDP-1をデモンストレーション (日) 昭和基地で樺太タロとジロの生存確認	(世) ローマ・オリンピック開催 (世) ミ2偵察機、ソ連 (ロシア) 上空で撃墜 (U2事件) (世) 南ベトナム解放戦線結成 (日) 日米安保条約調印 (日) 社会党、浅沼書記長刺殺 (日) 反安保闘争で樺美智子さん死亡 (日) カラーテレビ放送開始	(世) 米、キューバと国交断絶 (世) 東独、ベルリンの壁を建造 (日) ソ連、ボストーク1号打ち上げ カガリシツ佐が地球一周 (日) 釜ヶ崎暴動 (日) 水俣病認定 (日) TV番組・シャボン玉ホリデー、スチャラカ社員	(世) キューバ危機 米、キューバを海上封鎖 (日) 堀江謙一、ヨットで太平洋横断 (日) 偽千円札・チ37号事件 (日) 映画・キューボラのある街、秋刀魚の味	(世) 米・英・ソ、部分的核実験禁止条約調印 (世) ソ連、初の女性宇宙飛行士レシコフ「私はカモメ」 (世) 米、ケネディ大統領暗殺事件 (日) 日米テレビ宇宙中継実験 ケネディ暗殺のニュースが放送される (日) 関西電力、黒部川第4発電所(黒四ダム)完成 (日) 第9回原水禁大会分裂 (日) 草加次郎・爆弾事件 (日) 女性週刊誌「ヤングレディ」女性セブン、創刊	(世) パレスチナ解放機構 (PLO) 設立 (世) 米駆逐艦、北ベトナム軍と交戦 トンキン湾事件 (世) 中国、初の核実験 (日) OECD (経済協力開発機構) に加盟 (日) 東海道新幹線開通 (日) 東京オリンピック開催 (日) 漫画「おぼけのQ太郎」(藤子不二雄)、「カムイ伝」(白土三平)	(世) 米軍、北ベトナム爆撃(北爆)開始 (世) 米、マルコムX暗殺事件 (世) 印パ(インド・パレスチナ)紛争 (日) 原水爆禁止国民会議(原水禁)結成 (日) 家永三郎、教科書検定裁判 (日) 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞 (日) 東京に初のスモッグ警報 (日) TV番組「青春とはなんだ」、「小川宏ショー」	(世) ソ連、ルナ9号月面軟着陸 (世) 中国共産党、文化大革命 (日) 航空機事故相次ぐ(全日空機、羽田沖で墜落・カナダ航空機、羽田空港堤防に激突・英BOAC機、富士山付近で墜落など) (日) 祝日法改正(敬老の日、体育の日) (日) 佐藤首相、「核の傘」発言 (日) 人口、1億人突破 (日) 劇画「巨人の星」(梶原一騎・川崎のぼる) 特撮TV「ウルトラQ」、「ウルトラマン」 (日) ビートルズ来日	(世) 欧州共同体 (EC) 発足 (世) 東南アジア諸国連合 (ASEAN) 結成 (世) 米、ベトナムで枯葉剤作戦 (世) 第3次中東戦争 (日) 佐藤首相の東南アジア歴訪と訪米に抗議デモ(第1次、第2次アジア事件) (日) 国民の9割が「中流」意識と国民白書 (日) 新宿にフーテン族登場、アングラ族、ヒッピー族など (日) 漫画「天才バカボン」(赤塚不二夫)、「ルパン三世」(モンキーパンチ)	(世) ソ連、チェコ侵攻 (世) 北朝鮮、フェブロ号拿捕事件 (世) 米、キング牧師暗殺事件 (世) アラブ石油輸出国機構(OAPEC)結成 (世) ベトナムと平和条約 (世) ジョンソン大統領、北ベトナム爆撃(北爆)停止を発表 (日) 札幌医大で日本初の心臓移植手術 (日) 府中市で三徳円強奪事件 (日) 原子力空母エンタープライズ、佐世保入港 (日) 金鐘老事件(旅籠人質事件) (日) 川端康成、ノーベル文学賞受賞 (日) グループサウンズとフォークソングが流行、「受験生ブルース」(高石とまや) ヒット	(世) 米、アポロ11号月面軟着陸 (世) 米、ウッドストック、ロックフェスティバル (世) ソ連宇宙船ソユーズ4号と5号がドッキング成功 (日) 奥崎謙三、皇居バチンコ玉事件 (日) 東大・安田講堂に機動隊突入 (日) 新宿駅西口フォーク集会以参加者と機動隊が衝突、西口「広場」は「通路」に改称 (日) 佐藤ニクソン会談で沖縄返還を確認 (日) 名神高速道路、東京-西宮間全面開通 (日) 郵便番号制度実施 (日) NHKがFM放送開始、FM東京開局 (日) TV「8時だヨ!全員集合」、「ガク/ゲ!90分」 (日) CM「オー、モーレツ」(丸善石工)「はっばふみふみ」(パイロット万年筆)	(世) ムルサ、パレスチナゲリラー掃討戦(黒い19月) (世) ビアフラ、内戦終結 (世) ウィーンでSALT (米ソ戦略兵器制限交渉) 開始 (世) (日) 大阪千里丘陵で万国博覧会開催 (日) 初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ (日) 大阪、天六ガス爆発事故 (日) 日米安全保障条約自動延長、反対集会 (日) プリンズ号シージャック事件 (日) 赤軍派による日航機よど号ハイジャック事件 (日) 三島由紀夫、自衛隊市ヶ谷駐屯地で割腹自殺 (日) 劇画「銭ヶバ」、「アシュラ」(ジョージ秋山)「光る風」(山上たつひこ)	(世) バングラデシュ、パキスタンから独立 (世) IBM社、クラフ雑誌「LIFE」休刊 (世) 第3次印パ(インド・パキスタン)戦争 (日) ニクソンのドル防衛策で東京株式市場大暴落(ドルショック) (日) 自衛隊機と全日空機雲石上空で衝突 (日) 環境庁発足 (日) 沖縄返還協定調印 (日) 連続婦女暴行魔大久保逮捕 (日) NHK総合TV全番組カラー化 (日) 新宿王五郎ザザザ開演	(世) テルアビブ、ロッド空港で日本人ゲリラによる銃乱射事件 (世) ミュンヘンオリンピックでテロ事件 イスラエル選手団殺害 (世) 米、北爆(北ベトナム爆撃)再開 (日) 横井庄一元軍曹グアム島で救出 (世) 連合赤軍、浅間山荘で警官隊と銃撃戦(連合赤軍事件) (日) 沖縄返還、沖縄県発足 (日) 田中角栄、日本列島改造論発表 (日) 日中国交正常化共同声明 (世) (日) 映画「ゴッドファーザー」、「ダーティーハリー」	(世) ベトナムと平和協定調印 (世) 米軍、南ベトナムから撤退 (世) ラオス停戦 (世) チリ、軍事クーデター (世) 第4次中東戦争 エジプト・シリア軍がイスラエルと交戦 (世) ウォーターゲート事件 (日) 韓国大統領候補、金大中氏が東京で誘拐(金大中事件) (日) 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞 (日) 老人医療無料化 (日) 国電中央線にシルバースーツ登場 (日) OAPECが石油値上げ 石油危機(オイルショック) (日) 小説「日本沈没」(小松左京)	(世) ウォーターゲート事件でニクソン大統領辞任 (世) ソウル、朴大統領狙撃事件 (日) 佐藤栄作前首相ノーベル平和賞受賞 (日) 筑波大学開学 (日) 三菱重工ビル爆発事件 (日) 小野田寛郎元少尉、フィリピン・ルパン島から帰還 (日) コリ・ゲラ来日、超能力・スプーン曲げブーム (日) コンビニ第1号セブン・イレブン開店	(世) サイゴン陥落、南ベトナム降伏、ベトナム戦争終結 (世) 山陽新幹線第1回開通 (日) 公労協、スト権スト実施 (日) 沖縄国際海洋博覧会開幕 (日) TV番組「欽ちゃんのドンとやってみよう」、「赤い疑惑」

プログラミング・コンピュータ関連

(世) クレイ・リサーチ社、スーパーコンピュータ CRAY-1発表
(世) IMSAI社、マイコンキットIMSAI発売以後、各社から続々とマイコンキットが発売される
(世) Apple I誕生、Apple社設立
(世) コンピュータ技術誌Doctor Dobb's Journal創刊
(世) ザイログ社、Z80発表
(日) 日本電気、マイコンキットTK-80発売
(日) 西和彦、星正明ら、雑誌「I/O」創刊

政治・経済・文化・世相

(世) 周恩来、毛沢東死去
(世) 中国、天安門事件
(世) 米・バイキング1号火星着陸
(世) ロッキード事件、衆議院に調査特別委員会設置、田中前首相逮捕
(日) 国鉄運賃、郵便料金、電話料金値上げ
(日) VHSビデオ登場

プログラミング・コンピュータ関連

(世) Apple社、Macintosh SE/30発売
(世) Intel社、コロッセイ搭載の486を発表
(世) IBM社、RISC System/6000ワークステーション発表
(世) NeXT社、NeXTコンピュータ、NextStep 1.0発売
(世) 米NEC Technologies社、世界初のサブノート機UltraLite発売
(世) Microsoft社、SQL Server出荷
(世) IBM社、OS/2 1.2発売
(日) ANSI-C制定
(日) 東芝、軽量・低価格ブックコンピュータ、J-3100S (Dynabook) 発売

政治・経済・文化・世相

(世) 中国、北京天安門広場で市民・学生と軍が衝突、天安門事件
(世) 米・バリエア州に初の黒人知事、ニューヨーク市に初の黒人市長
(世) ソ連、ハンガリー、東独など東欧諸国に民主化運動
(世) 独、東西ベルリンの壁崩壊
(世) ソウル・オリンピック開催
(日) 東京湾で海上自衛隊潜水艦などしおと民間の釣り船が衝突
(日) 青函トンネル、本四連絡橋 (瀬戸大橋) 開通
(日) ふるさと創生資金1億円を市町村に交付決定
(日) 昭和天皇崩御、平成に改元
(日) 幕張メッセオープン
(日) 黒沢明監督、アカデミー特別賞受賞
(日) 任天堂、ゲームボーイ発売
(日) さくらももこ「ちびまる子ちゃん」ブーム
(日) 映画「黒い雨」「ブラックレイン」「レインマン」

(世) Microsoft社、CP/M上で動作するFORTRANを出荷
(世) Radio Shack社、TRS-80マイコン出荷
(世) Apple社、Apple II出荷
(世) Portable Cの開発開始
(日) 日本電気、TK-80をキーボード付きBASICマシンにするTK-80BS出荷
(日) 西和彦らアスキー出版設立、雑誌「ASCII」創刊

(世) 米・ニューヨーク大停電
(世) 中国、文化大革命終結宣言 近代化を発表
(世) パキスタン軍事クーデター
(世) カンボジア、ベトナムと国交断絶
(日) ロッキード事件、丸紅ルート初公判
(日) 広島で、原水爆禁止統一世界大会開催
(日) 王貞治、本塁打756本の世界記録
(日) 映画「幸せの黄色いハンカチ」、漫画「ブラックジャック」
(日) ビンクレディー登場

(世) Motorola社、25MHzの68040発売
(世) Intel社、33MHzの486出荷
(世) Digital Resrch社、DR DOS5.0発売
(世) Apple社、Macintosh Classic、LC、IIsiを発表
(世) Microsoft社、Windows 3.0出荷
(世) IBMとMicrosoft、技術協力関係を破棄
(世) FORTRAN90制定
(世) Borland社、Turbo C++ 発表
(日) 日本IBM、日本語PC-DOS4.0/V (DOS/V) 発表

(世) ソ連初代大統領ゴルバチョフ氏にノーベル平和賞
(世) 東西ドイツ統合、ドイツ連邦共和国に
(世) イラン大地震、5万人死亡
(世) イラク軍がクウェート侵攻、多国軍サウジ派兵 湾岸戦争
(日) TBS特派員秋山豊實、初の日本人宇宙飛行士としてソユーズに搭乗
(日) 本島等長崎市長銃撃事件
(日) 神戸市、兵庫県立高塚高校 神戸死傷事件
(日) 金融機関の統合案、太陽神戸三井銀行誕生
(日) 映画「少年時代」「ワールド・オブ・ドリームス」「7月4日に生まれて」

(世) Intel社 8088MPU出荷
(世) Microsoft社、8086BASIC、8080およびZ80用アセンブラ出荷
(世) Motorola社、68000MPU発表
(世) Microsoft社、8086用FORTRAN開発開始
(世) Apple II用に世界初の表計算ソフトVisicalc発売
(世) MIT、ワインレブ、ムーンラLispに基づいたオブジェクト指向言語Flavors開発
(世) N.ワース、汎用言語Modula-2 開発
(日) タイター、スペースインベーダー出荷、大ブーム
(日) 日本電気、PC-8001パーソナルコンピュータ発表
(日) 浮川和宣、ジャストシステムを設立

(世) 英、サッチャー政権発足
(世) 米中国交回復
(世) 韓国朴大統領暗殺
(世) スリーマイル島原発、放射能漏れ事故
(世) 東京サミット
(世) イラン革命の影響で石油供給削減、第2次石油危機
(日) 元号法公布
(日) 三菱銀行強盗強盗・梅川事件
(日) ソニー、ウォークマン発表
(日) インベーダーゲーム登場
(日) 埼玉でいじめが原因の自殺
(日) テレビドラマ「3年B組金八先生」、放映開始

(世) Motorola社、MPU 68040を1年遅れで出荷
(世) Intel社、20MHzと25MHzMPU 1486SX 発表
(世) Apple社、50MHz486DX 出荷 過熱でリコール
(世) Intel社、次世代MPU Pentiumの開発に着手
(世) Advanced Micro Design (AMD) 社、i386互換CPU発表
(世) Microsoft社、OS/2 ver.3.0をWindowsNTに改名
(世) Microsoft社、Visual Basic for Windows 発表
(世) Apple社、TrueTypeフォント仕様を公開
(世) Apple社、System7.0出荷
(世) Borland社、Borland C++発表
(日) ジャストシステム、DOS/V版一太郎Ver.4 発売

(世) 湾岸戦争で多国軍がイラク空爆 ベルンシャ湾に原油流出
(世) 南アフリカ、アパルトヘイト廃止
(世) ソ連消滅、ロシア共和国に
(世) EC、EU (欧州同盟) 発足を決定
(日) 日本政府、多国軍追加支援90億ドル拠出
(日) 自衛隊、ベルンシャ湾連決戦
(日) 美浜原発2号機、冷却水漏れ事故
(日) 雲仙・普賢岳で火砕流発生
(日) 牛肉・オレジン輸入自由化
(日) TVドラマ「101回目のプロポーズ」
(日) 映画「羊たちの沈黙」「ホーム・アローン」

(世) Microsoft社、8086用AT & T UNIX 開発開始
(世) Seagate Technologies最初の5.25インチハードディスク開発 (翌年発売)
(世) IBM社、パーソナルコンピュータ (PC) の設計開始
(世) IBM社、Microsoft社にPC用のOS開発について打診 (後に契約成立)
(世) Microsoft社、PC用OS・MS-DOS開発開始
(世) Smalltalk-80発表 Smalltalkの仕様が固まる
(世) J.イシュビラら、Adaを設計、米国防務省、軍用共通語に制定
(日) 都市銀行6行、CDのオンライン提携開始

(世) 駐イラン米大使館人質事件 救出失敗
(世) イラン・イラク戦争勃発
(世) 仏、中性子爆弾実験
(世) 韓国に戒厳令 光州事件
(世) 米、コンピュータの故障でソソ核戦争の非常警戒態勢 (3分で解除)
(世) ボーランド、自主管理労組“連帯”結成
(世) ジョン・レンノ殺害事件
(日) 大貫さん1億円拾得事件
(日) 新宿西口バス放火事件
(日) 電気・ガス50%近い値上げ
(日) 山口百恵引退
(日) ルービックキューブ流行

(世) Intel社、MPU i486DX2発表
(世) Cyrix社、i486互換CPU発表
(世) Apple社、PowerBook発表
(世) Intel社、PCIバス仕様を発表
(世) IBM社、OS/2 2.0を発売
(世) NeXT社、NextStep 3.0出荷
(世) Microsoft社、Windows 3.1発売、50日で100万本を販売
(世) Microsoft社、Windows for Workgroup 3.11発売
(世) Microsoft社、データベースソフトAccess1.0 出荷
(日) 低価格AT互換機が上陸 DOS/Vブーム

(世) ボスニア・ヘルツェゴビナ、ユーゴから独立
(世) 中国・韓国、国交樹立
(世) ブラジルで地球環境サミット
(世) スペースシャトルに毛刺衝突 NHKで宇宙からの授業
(世) 米クリントン政権発足 情報ハイウェイ構想
(世) 独、ネオナチの犯罪が頻発
(日) PKO (平和維持活動) 法案成立
(日) カンボジア派遣部隊出発
(日) 金丸自民党副総裁銃撃事件
(日) 歌手・尾崎豊、死去
(日) 「朝日ジャーナル」休刊
(日) 映画「JFK」「ツイン・ピークス」

(世) IBM社、IBM PC (5010 Personal Computer) 出荷
(世) Microsoft社法人化、Microsoft Corporationに
(世) Intel社、8087数値演算プロセッサ出荷
(世) XEROX社、ナショナル・コンピュータ・カンパレンスでAltoを発展させたStar8010 公開
(世) Apple社社長交替でステイブ・ジョブズ会長に
(世) ステファン・ウォズニアクの自家用機墜落、記憶喪失
(日) 富士通、漢字の使えるコンピュータFM8発売
(日) 孫正義、ソフトウェア流通のソフトバンク社設立

(世) レーガン大統領狙撃事件
(世) 英チャールズ皇太子、ダイアナさんと結婚
(世) パリ人肉食事件
(世) イラン首相府爆弾事件 大統領、首相が死亡
(世) サダト・エジプト大統領暗殺事件
(日) ローマ法王、ヨハネ・パウロ2世来日
(日) 赤十字ルート線廃止
(日) 伊藤素子、銀行のオンラインを利用した搾取で逮捕
(日) スティービー・ワンダー来日
(日) 神戸ポートピア81開港
(日) なめ猫ブーム
(日) 映画「泥の河」、「セーラー機と機関銃」、「レイダース・失われた聖櫃」

(世) DEC社、MPU Alpha 21064(200MHz) 発表
(世) Intel社、MPU Pentium(60MHz、66MHz) 出荷
(世) IBM社、並列処理コンピュータRS/6000発売
(世) Motorola社MPU PowerPC 601出荷
(世) Microsoft社、OLE2.0発表
(世) Microsoft社、WindowsNT Advanced Server、同Workstation 3.1出荷
(世) Compaq、Intel、Microsoft、Phoenix社、プラグアンドプレイ規格を発表
(世) IBM社、1992年度50億ドルの赤字発表
(世) 住友化学の製造プラント全焼、メモリチップ価格高騰
(日) マイクロソフト社、Windows 3.1日本語版 発表
(日) 日本電気、PC-9821 (98MATE、98FELLOW) 発売
(日) 富士通、DOS/Vマシン・FMVシリーズ発売

(世) EC統合市場発足
(世) カンボジアで日本人国連ボランティア、銃撃され死亡
(世) チェコスロバキア、チェコ共和国とスロバキア共和国に分離
(日) 北海道南西沖地震 (釧路沖地震)
(日) 皇太子ご成婚
(日) 東京サミット
(日) 野村秋夫、朝日新聞社でビートル自殺
(日) につかつ倒産
(日) サッカー、Jリーグ発足
(日) サッカー・ワールドカップ最終予選、引き分けで予選通過できず (ドーハの悲劇)
(日) 映画「ソナチネ」、「ジュラシック・パーク」「許されざる者」

(世) Microsoft社、Apple社とソフト開発契約締結
(世) Microsoft社、表計算ソフトMultiplan発売 (Apple用、IBM PC用)
(世) Commodore社、世界初のサウンド機能搭載コンピュータCommodore64発売
(世) Toshiba America社、液晶画面付きパソコンを発表
(世) Colombia Data Products社、IBM PC互換機を出荷
(日) シャープ、ハンドヘルドパソコン・PC-1500 発表
(日) 日本電気、PC-9801、N5200発表
(日) 日立製作所、BASIC Master 16000発表
(日) 三菱、東芝、三洋電機など、相次いで16ビットCPUを搭載したコンピュータを発表
(日) ジャストシステム、データショーにオフコン用日本語処理システムを出版
(日) 東京地裁、コンピュータ・プログラムを著作物と認定

(世) フォークランド紛争 (アルゼンチン軍対英軍)
(世) 欧米諸国で反核運動
(世) 国際捕鯨委員会、商業捕鯨禁止案可決
(日) ロッキード事件全日空ルートで被告6人に有罪判決
(世) 米、IBM産業スパイ事件 FBIが日本人関係者を逮捕
(日) 教科書検定にアジア諸国が批判、抗議
(日) 東京・赤坂のホテル・ニュージャパにて火災
(日) 日航機、羽田沖で逆噴射墜落
(日) 春闘史 初回の交通スト回避
(日) 東北新幹線、上越新幹線開業
(日) 500円硬貨発行
(日) 映画「鎌田行進曲」、「ブレッドランナー」

(世) Sun Microsystems社、MPU Sun Super SPARC II (85MHz) 出荷
(世) Sun Microsystems社、HotJava発表
(世) Intel社、MPU Pentium (120MHz、133MHz) 出荷
(世) Hewlett-Packard社、カラーインクジェットプリンタ発表
(世) Microsoft社、Windows95出荷、4日間で100万本発売
(世) Microsoft社、Windows NT Server、同Workstation 3.51出荷
(世) Apple社、System7.1出荷
(世) IBM社、PC-DOS 6.3出荷
(世) Novasc Communications社、Netscape Navigator 1.0発表
(世) Intel社PentiumIIにバグ騒動
(世) W3C発足

(世) ロシア軍、チェチェン侵攻
(世) 米・ベトナム、国交樹立
(世) イスラエル、ラビン首相暗殺
(世) 仏、シラク大統領、核実験再開を表明
(世) 世界貿易機関 (WTO) 発足
(日) 兵庫県南部地震 (阪神淡路大震災) 日本の危機管理が世界に問われる
(日) 東京地下鉄サリン事件 オウム真理教事件へ発展
(日) 高速増殖炉「もんじゅ」でナトリウム漏れ事故
(日) 青島幸夫・東京都知事、横山ノック・大阪府知事誕生
(日) 野茂英雄、大リーグで活躍
(日) 映画「フォレスト・ガンプ」「スピード」

(世) Microsoft社、階層構造ディレクトリをサポートしたMS-DOS2.0発表
(世) Lotus Development社、DOS用Lotus 1-2-3 発売
(世) Borland International社、Turbo Pascal for CP/M 発売
(世) AT & T、UNIX System V 発表
(世) IBM社、PC-XT 発表
(世) IBM、家庭用パソコンPCジュニア発表
(世) Microsoft社、Microsoft Windows発表
(世) ISO、ISO-Pascal制定
(世) Stepstone社、B.J.コックス、Objective-C開発
(世) AT & Tベル研究所、C++言語開発
(日) 日本電気、漢字対応の8ビットパソコンPC-8001mkII発売
(日) 管理工学研究所、Disk BASICで書かれたPC-9801用日本語ワープロ発売 後に改良され“松”となる
(日) ジャストシステム、PC-9801用ワープロ“光”を試作
(日) パソコンの普及台数が100万台を突破

(世) フィリピン、元上院議員ベニグノ・アキノ氏暗殺
(世) 西独、反核行動で30万人の人間の鎖
(世) 西独、総選挙で環境保護を主張する“緑の党”が躍進
(世) ソ連、領空侵犯した大韓航空機を撃墜
(世) ボーランド“連帯”委員長フレドリック・ノーベル平和賞
(日) 中曽根首相訪米、日本列島は不沈空母発言で物議
(日) 日本海中部地震
(日) ロッキード事件で田中角栄元首相に有罪判決
(日) 比例代表制初の選挙、ミニ政党ブーム
(日) 厚生省エイズ研究班、日本の発症を否定
(日) 国鉄赤穂線廃止
(日) 戸塚ヨドバシスクール事件で戸塚校長逮捕
(日) 映画「探偵物語」、「ウォーゲーム」

(世) Intel社、MPU Pentium (150MHz) 出荷
(世) Intel社、MPU Pentium Pro (200MHz) 出荷
(世) Intel社、Mobile Pentium (150MHz) 出荷
(世) Packard Bell社、NECグループに参入
(世) Microsoft社、Internet Explorer 2.0、3.0 出荷
(世) Netscape Communications社、Navigator 2.02出荷
(世) Microsoft社、WindowsNT Server、同Workstation 4.0出荷
(世) Microsoft社、Windows95 OSR2.0発表
(世) Microsoft社、Office97発表
(世) Microsoft社、WindowsCE発表 各社からハンドヘルド・コンピュータ発売
(世) スティーブ・ジョブズ、Apple社相談役に
(日) インターネット・プロバイダ急増

(世) 中国、台湾近海でミサイル発射実験
(世) ベルー日本大使公邸占拠、人質テロ事件
(世) 米、イラクをミサイル攻撃
(世) アトランタ・オリンピック開催
(日) 豊田県津市岩倉崩落
(日) 厚生省収容事件で岡光前次官逮捕
(日) 病源性大腸菌O-157で死者
(日) 橋本連立内閣発足
(日) 映画「インデペンデンス・デイ」

(世) Apple社、Macintosh発表 6画面で10万台出荷
(世) IBM社、80286CPUを搭載したPC/AT 発表
(世) Microsoft社、MS-DOS3.0発表 10MBハードディスクをサポート
(世) Microsoft社、MS-DOS3.1発表 MS-Networksをサポート
(世) Microsoft社、Word1.1 for DOS出荷
(世) IBM社、PC AT用UNIX・PC/IXを発表
(世) インターネットのサーパー数が1000基に
(日) 日本電気、8086互換CPU・V30発表
(日) 日本IBM、PCジュニアを日本語化したJXを発表
(日) 富士通、OSにCP/M-86を採用したFM16発表
(日) キヤノン販売、日本でMacintoshの販売開始
(日) ジャストシステム、JX用日本語ワープロJX-Word発表
(日) ジャストシステム、PC-9801用日本語ワープロJX-Word2.0発表

(世) ロサンゼルス・オリンピック、ソ連不参加
(世) レーガン米大統領訪中
(世) 英中、1997年香港返還に調印
(世) インド、インディラ・ガンジー首相暗殺
(日) 植村直己、マッキンリーで消息不明
(日) NHKテレビ衛星放送開始
(日) 江崎グリコ社長誘拐 グリコ・森永事件
(日) 臨時教育審議会発足
(日) 総理府調査で国民の9割が中意意識
(日) 日米牛肉・オレジン交渉合意
(日) 映画「風の谷のナウシカ」、「ゴースト・バスターズ」

(世) Sun Microsystems社、MPU Sun Super SPARC II (85MHz) 出荷
(世) Sun Microsystems社、HotJava発表
(世) Intel社、MPU Pentium (120MHz、133MHz) 出荷
(世) Hewlett-Packard社、カラーインクジェットプリンタ発表
(世) Microsoft社、Windows95出荷、4日間で100万本発売
(世) Microsoft社、Windows NT Server、同Workstation 3.51出荷
(世) Apple社、System7.1出荷
(世) IBM社、PC-DOS 6.3出荷
(世) Novasc Communications社、Netscape Navigator 1.0発表
(世) Intel社PentiumIIにバグ騒動
(世) W3C発足

(世) 中国、台湾近海でミサイル発射実験
(世) ベルー日本大使公邸占拠、人質テロ事件
(世) 米、イラクをミサイル攻撃
(世) アトランタ・オリンピック開催
(日) 豊田県津市岩倉崩落
(日) 厚生省収容事件で岡光前次官逮捕
(日) 病源性大腸菌O-157で死者
(日) 橋本連立内閣発足
(日) 映画「インデペンデンス・デイ」

(世) Microsoft社、Macintosh用Word & Excel 発表
(世) Microsoft社、Microsoft Windows1.0出荷
(世) Intel社、32ビットCPU80386発表
(世) Apple社、創立者のステイブ・ジョブズを解雇
(世) スティーブ・ジョブズ、Apple社のマネージャと共にNeXT社設立
(日) 日本電気、ハードディスク内蔵のPC-9801M3 発表
(日) ジャストシステム、日本語FEP「ATOK」とワープロ「一太郎」発表

(世) フィリピン、元上院議員ベニグノ・アキノ氏暗殺
(世) 西独、反核行動で30万人の人間の鎖
(世) 西独、総選挙で環境保護を主張する“緑の党”が躍進
(世) ソ連、領空侵犯した大韓航空機を撃墜
(世) ボーランド“連帯”委員長フレドリック・ノーベル平和賞
(日) 中曽根首相訪米、日本列島は不沈空母発言で物議
(日) 日本海中部地震
(日) ロッキード事件で田中角栄元首相に有罪判決
(日) 比例代表制初の選挙、ミニ政党ブーム
(日) 厚生省エイズ研究班、日本の発症を否定
(日) 国鉄赤穂線廃止
(日) 戸塚ヨドバシスクール事件で戸塚校長逮捕
(日) 映画「探偵物語」、「ウォーゲーム」

(世) Intel社、MPU Pentium (150MHz) 出荷
(世) Intel社、MPU Pentium Pro (200MHz) 出荷
(世) Intel社、Mobile Pentium (150MHz) 出荷
(世) Packard Bell社、NECグループに参入
(世) Microsoft社、Internet Explorer 2.0、3.0 出荷
(世) Netscape Communications社、Navigator 2.02出荷
(世) Microsoft社、WindowsNT Server、同Workstation 4.0出荷
(世) Microsoft社、Windows95 OSR2.0発表
(世) Microsoft社、Office97発表
(世) Microsoft社、WindowsCE発表 各社からハンドヘルド・コンピュータ発売
(世) スティーブ・ジョブズ、Apple社相談役に
(日) インターネット・プロバイダ急増

(世) 中国、鄧小平死去
(世) クリントン大統領2期目就任
(世) ベルー日本大使公邸テロ事件解決
(世) ロシア、サミットに正式参加
(世) 英、香港を中国に返還
(世) ダイナソウ元皇太子妃自動車事故で死亡
(世) (日) 温暖化防止国際会議開催
(日) 東海村動燃再処理工場で爆発
(日) 山一証券、経営破綻
(日) 神戸児童殺傷事件 (酒鬼薔薇事件)
(日) サッカー・W杯アジア予選通過、初出場決定
(日) 消費税率5%に
(日) 北野監督「HANA-BI」、ベネチア国際映画祭グランプリ受賞
(日) 映画「ものけげ」、「ロスト・ワールド」

(世) Microsoft社、720KB FDをサポートしたMS-DOS 3.2を発売
(世) IBM社、PC/ATに8MHzの80286を採用
(世) Compaq Computer社、50万台目のPCを出荷
(世) Intel社、32ビットCPU80386発売
(日) Apple社、ジョン・スカリアに就任
(日) 東芝、ラップトップパソコンJ-3100 (米ではT-3100) 発売
(日) NEC、80286採用のPC-9801VX発売
(日) Lotus社、1-2-3日本語版発売
(日) マイクロソフト社、日本人設立
(日) アスキー、マイクロソフトとの代理店契約解消

(世) スペインとポルトガル、ECに加盟
(世) フィリピン、マルコス政権崩壊、アキノ大統領就任
(世) ソ連、チェルノブイリ原発事故
(世) 米、スペースシャトル・チャレンジャー号爆発事故
(日) 社会党、「新宣言」で路線転換、土井たか子氏委員長に
(日) 東京サミット開催
(日) 英チャールズ皇太子・ダイアナ妃来日
(日) 三原山大火災
(日) 防衛費、GNPの1%枠を突破
(日) ビートルたけしら、FRIDAY編集部殴り込み
(日) 地価の暴騰始まる 狂乱地価
(日) 「ファミコン通信」創刊
(日) 富士フィルム、写ルンです発売

(世) Intel社、MPU PentiumII (266MHz) 出荷
(世) Intel社、廉価版MPU PentiumII Celeron 発表
(世) Intel社、Mobile PentiumII 発表
(世) Apple社、MacOS7.6、同8.0出荷
(日) 日本電気 (NEC)、PC-9821NX 発売

(世) 中国、鄧小平死去
(世) クリントン大統領2期目就任
(世) ベルー日本大使公邸テロ事件解決
(世) ロシア、サミットに正式参加
(世) 英、香港を中国に返還
(世) ダイナソウ元皇太子妃自動車事故で死亡
(世) (日) 温暖化防止国際会議開催
(日) 東海村動燃再処理工場で爆発
(日) 山一証券、経営破綻
(日) 神戸児童殺傷事件 (酒鬼薔薇事件)
(日) サッカー・W杯アジア予選通過、初出場決定
(日) 消費税率5%に
(日) 北野監督「HANA-BI」、ベネチア国際映画祭グランプリ受賞
(日) 映画「ものけげ」、「ロスト・ワールド」

(世) IBM社、80386CPU、MCAバス搭載のPS/2 発売
(世) IBM社、PS/2にCVGAを搭載、以後互換機の標準に
(世) Intel社、80387数値演算プロセッサ出荷
(世) Motorola社、32ビットCPU68030発表
(世) Apple社、Macintosh II 発表
(世) Microsoft社、Mac用Excel 1.04出荷
(世) Microsoft社、Windows2.0出荷
(世) Microsoft社、OS/2 1.0を発売
(世) Microsoft社、世界初のCD-ROMソフトBookshelfを発売
(日) セイコーエプソン、PC-9801互換機PC-286 発売
(日) マイクロソフト社、PC/ATの日本語規格AX発表

(世) ニューヨーク株式市場大暴落 ブラックマンデー
(世) 円高・ドル安が催し米国で日本製品不買運動、ジャパン・バッシング
(世) NTT株上場、初値160万円
(日) 朝日新聞阪神支局襲撃事件
(日) 国鉄、分割・民営化
(日) 昭和天皇入院手術
(日) 平凡社、「週刊平凡」、終刊
(日) 映画「マルサの女」、「プラトーン」、「スタンド・バイ・ミー」
(日) 横方智「サラダ記念日」

(世) Intel社、MPU PentiumII (266MHz) 出荷
(世) Intel社、廉価版MPU PentiumII Celeron 発表
(世) Intel社、Mobile PentiumII 発表
(世) Apple社、MacOS7.6、同8.0出荷
(日) 日本電気 (NEC)、PC-9821NX 発売

(世) 中国、鄧小平死去
(世) クリントン大統領2期目就任
(世) ベルー日本大使公邸テロ事件解決
(世) ロシア、サミットに正式参加
(世) 英、香港を中国に返還
(世) ダイナソウ元皇太子妃自動車事故で死亡
(世) (日) 温暖化防止国際会議開催
(日) 東海村動燃再処理工場で爆発
(日) 山一証券、経営破綻
(日) 神戸児童殺傷事件 (酒鬼薔薇事件)
(日) サッカー・W杯アジア予選通過、初出場決定
(日) 消費税率5%に
(日) 北野監督「HANA-BI」、ベネチア国際映画祭グランプリ受賞
(日) 映画「ものけげ」、「ロスト・ワールド」

(世) IBM社、ミニコンピュータAS/400発表
(世) Microsoft社、Windows 286、Windows 386 出荷
(世) Microsoft社、MS-DOS 4.0出荷
(世) Microsoft社、QuickBasic4.5発売
(世) Microsoft社、OS/2 LanManager 発表
(世) NeXT社、NeXT computer を発表
(世) Compaq社、VGA搭載のラップトップ機を出荷
(世) Compaq他8社、32ビットバスEISA規格提案
(世) Apple社、「Windowsが著作権を侵害」とMicrosoft社を提訴
(世) OSF (Open Software Foundation) 設立

(世) イラン・イラク戦争
(世) 国連平和維持軍にノーベル平和賞
(世) ソ連、ゴルバチョフ書記長訪米
(日) よど号事件の柴田泰弘、日本赤軍の泉木博ら相次いで逮捕
(日) リクルート疑惑発覚
(日) 東京ドーム落成
(日) 「アエラ」創刊、「平凡パンチ」廃刊

(世) 2000年問題 (Y2K)、大きな混乱もなく終わる
(世) Microsoft社、Windows2000、WindowsMe発売
(世) Intel社、1GHzMPU・PentiumIII発表
(世) AMD社、1GHzMPU・Athlon発表
(世) MP3による音楽配新サイト流行 一部で著作権問題に
(世) 米連邦裁判所、Microsoft社に分割命令
(日) NTT DoCoMoのモード加入者数がNiftyを抜き、国内最大手プロバイダに

(世) 欧州単一通貨ユーロ発足
(世) ボーランド、チェコ、ハンガリー、NATO加盟
(世) NY株価が一万ドルを突破、中国がWTO加盟
(世) ポルトガル、マカオを中国に返還
(世) ユーゴスラビア、コソボ自治州で民族紛争 NATO軍空爆
(世) トルコ、台湾で大地震
(世) IOC、五輪招致疑惑
(日) 国旗・国家法、通信傍受法成立
(日) 国内初の脳死移植手術
(日) 学級崩壊、学校崩壊
(日) 映画「スターウォーズ・エピソード1」「マトリックス」